

中學各科規則便覽

東 京 圖 書 館

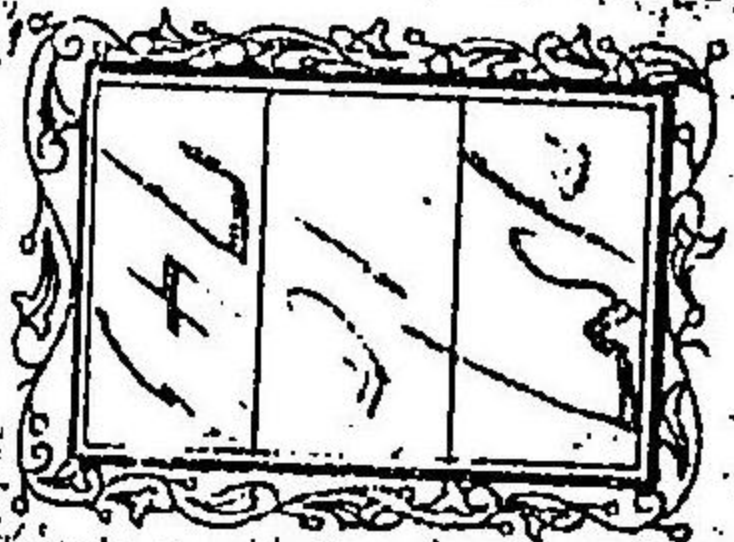
新 門 一 一 函

一 部 三 架

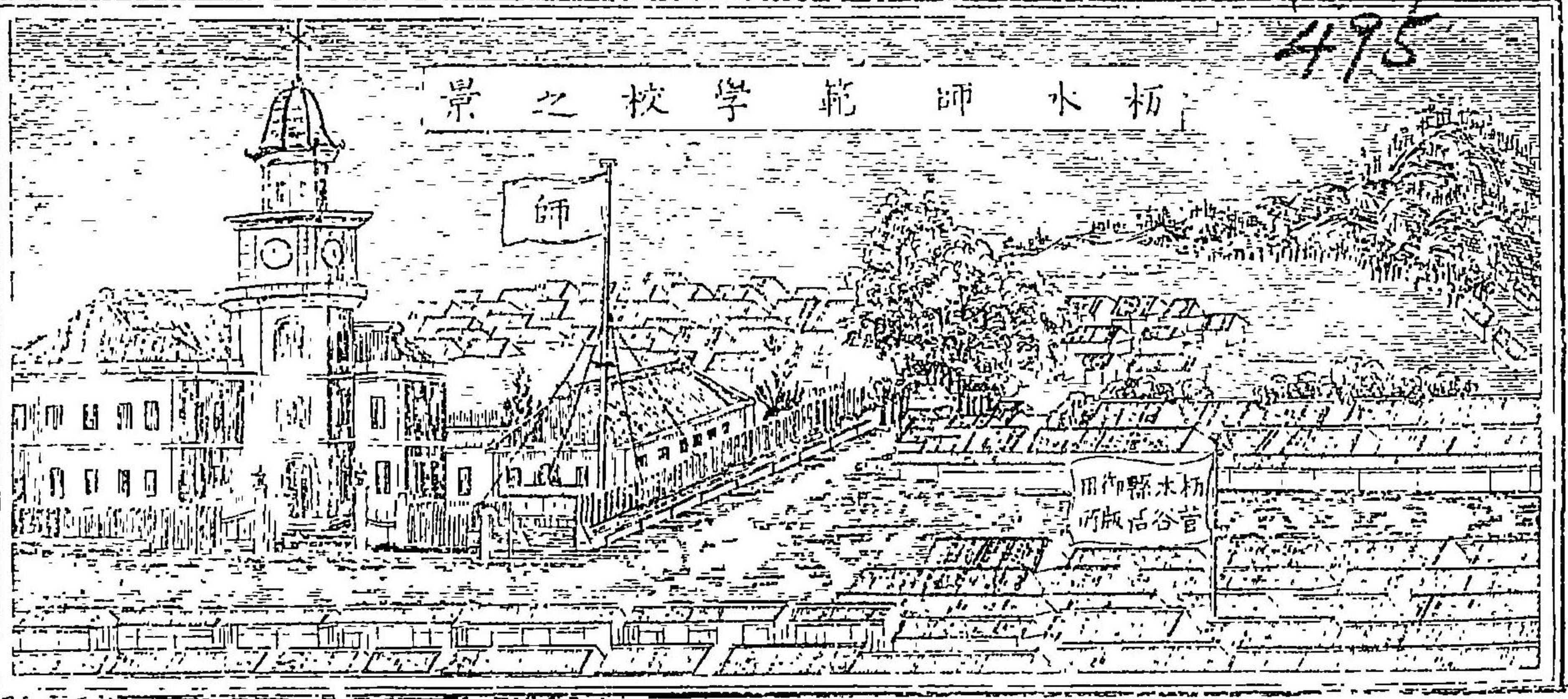
二 類 一 六 四 號

特71

495



特刊
495



景之校學範師水栢

栢水縣師
官谷活版

495

輯編議正

覽優則規諸希公中掌

題6藏平甚

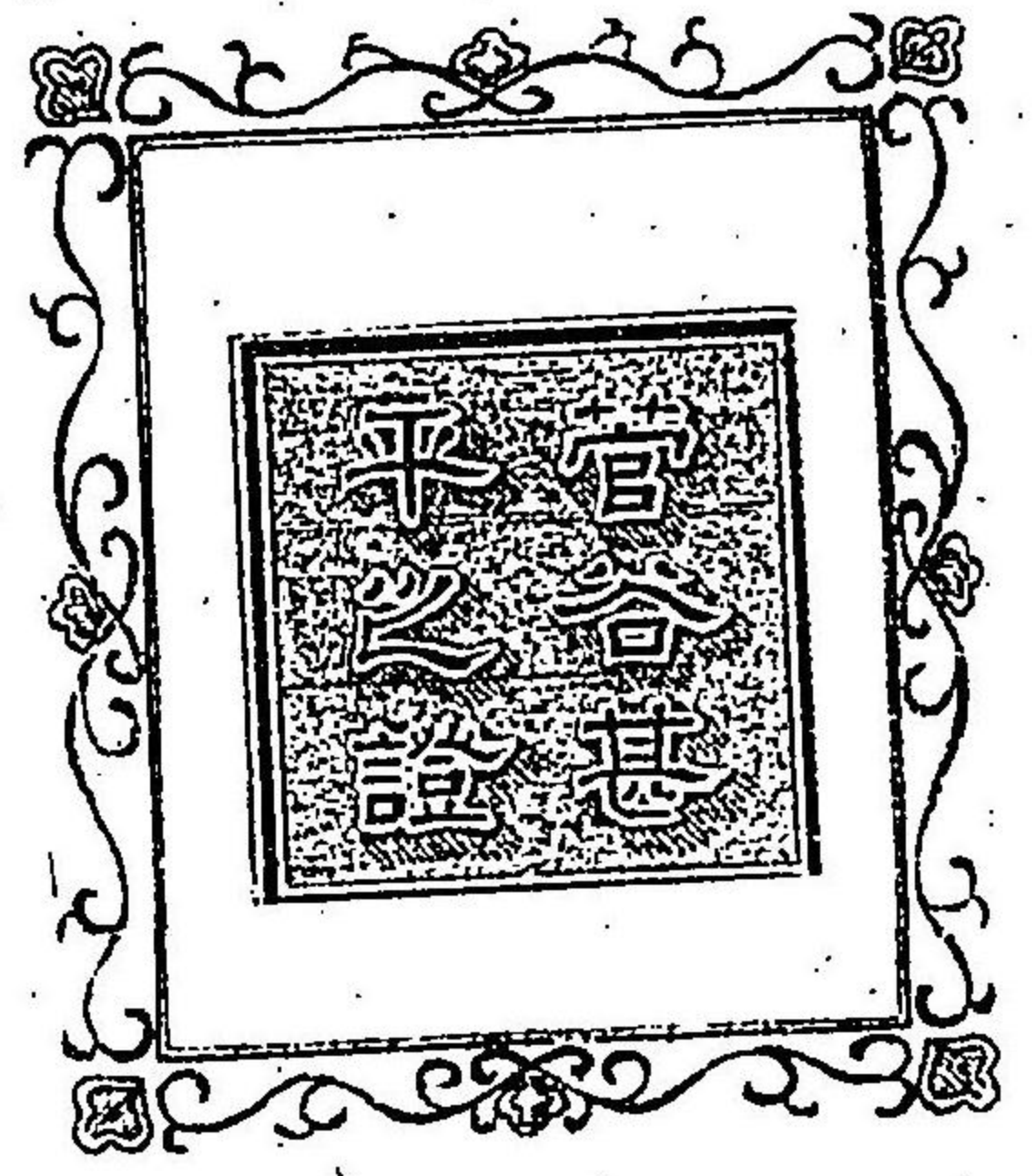
掌
中公布諸規則便覽

緒
言

明治元年維新以來ノ布告
中ヨリ人民一般必用ニ係
ル諸規則條例ヲ摘錄シ以
テ便覽ニ供ズルモノナリ
一凡テ規則ハ類ヲ以テ之
ヲ蒐集スト雖モ公務繁
劇ノ間ニ於テ筆ヲ採ル
故ニ年次ハ往々錯雜セ
リ省官之ヲ諒セヨ
一諸番式類ニ至リテハ大
率諸布達中ヨリ抜萃抄
録スト雖モ其中俗間ニ
行ハルノ類ハ意ヲ以テ
之ヲ造成セシモノアリ
其他此ノ如キ類諸番ニ
出ル所世間敢テ乏シカ

ラス故ニ詳ヲ求メズ簡
ヲ主トス

明治十年五月 編者誌



中略公布諸規則便覽目錄

一 裁判訴訟ニ関スル規則

一 訴訟用紙用方

二 裁許状紙用方

三 代言人規則

四 出訴期限規則概畧

五 東京各裁判所取扱

規則

六 違式詰違條例

七 代人規則

八 訴訟入費償却規則

九 裁判所取締規則

十 民事裁判傍聴規則

十一 證券印稅規則一覽表

十二 身代限規則

① 僧侶身代限規則
② 身代限揭示案
③ 控訴上告略則
④ 郵便ニ関スル規則
⑤ 郵便稅則概畧
⑥ 海外郵便稅則概表
⑦ 金子入書狀遞送概表
⑧ 外國船隻之規則
⑨ 電信貸鐵表
⑩ 通運會社物貨運送貸鐵表
⑪ 天然痘預防規則
⑫ 賣藥規則
⑬ 出版條例
⑭ 寫真條例

① 金標公債證書發行條例
② 各府縣里程表
③ 新橋品川間汽車貸鐵表
④ 東京橫濱間汽車貸鐵表
⑤ 材木類取扱心得規則
⑥ 八品商取締規則
⑦ 東京府戶籍上諸願何屆書 正副頁數一覽表
諸書式類
① 訴訟狀書式
② 訴狀表紙ノ式
③ 答書各書式
④ 答書表紙ノ式
⑤ 金子借用證書
⑥ 地券預リ證

- ⑦ 預り金證
- ⑧ 借家ノ證
- ⑨ 地所書入ノ證
- ⑩ 建家書入貨證
- ⑪ 同繪圖面書式
- ⑫ 建家賣渡証
- ⑬ 公債證書賣渡證
- ⑭ 諸品質入證
- ⑮ 出版版權願書式
- ⑯ 既刊圖書版權願書
- ⑰ 他人ノ著譯ヲ續成シタル出版
屆書若クハ出版版權願書
- ⑱ 他人ノ著譯書ヲ校訂シ或ハ節
畧シ或ハ注解附録繪圖等ヲ加
ヘタル出版屆書若クハ出版版

權願書

- ⑲ 版權(買受)讓受(分版)屆書
- ⑳ 甲既ニ成譯シテ出版スル圖畵
ヲ乙又譯シテ出版スル屆書若
クハ出版版權願書
- ㉑ 版權免許證書式
- ㉒ 版權免許料上納書面
- ㉓ 納本添書式
- ㉔ 酒類醸造皆濟屆書
- ㉕ 藝妓縁御鑑札願書式
- ㉖ 雇人請狀
- ㉗ 養子貰受約定一札
- ㉘ 養女貰受約定一札
- ㉙ 盜難屆書式
- ㉚ 拾物屆書式

一 裁判訴訟 開示諸規則

二 訴訟用紙 用方略則

三 金穀以類 雜石十石

四 金五百圓(米二百五十石) 雜石五百石

五 金千圓(米五百石) 雜石千石

六 金千圓(米五百石) 雜石千石

七 金千圓(米五百石) 雜石千石

八 金千圓(米五百石) 雜石千石

九 金千圓(米五百石) 雜石千石

十 金千圓(米五百石) 雜石千石

十一 金千圓(米五百石) 雜石千石

十二 金千圓(米五百石) 雜石千石

十三 金千圓(米五百石) 雜石千石

十四 金千圓(米五百石) 雜石千石

十五 金千圓(米五百石) 雜石千石

十六 金千圓(米五百石) 雜石千石

十七 金千圓(米五百石) 雜石千石

十八 金千圓(米五百石) 雜石千石

法律

[Faint, mostly illegible text in the right-hand column]

(地所)(境界)(建家)等ノ類

右 同一錢四厘 紫色

四 雜事ノ類

(以上ノ三条ニ拘ハラサル者)

右 同一錢二厘 紅色

五 文通ノ類

(原被告人ノ呼出狀)原被告ノ文通等

右 同一錢五厘 赭色

二 裁許狀罰紙

一 金穀ノ類 十二行
十二字

(金十円)(米五石)(雜石十石)

右以下一枚二錢 黃色

(金百円)(米五十石)(雜石百石)

右以下同三錢 黃綠色

(金五百円)(米二百五十石)(雜石五百石)

右以下同四錢 橙黃色

(金千円)(米五百石)(雜石千石)

右以下同五錢 綠色

(金千円)(米五百石)(雜石千石)

右以上同六錢 黑色

三 人事ノ類

右 同三錢二厘 青色

三 土地建物ノ類

右 同二錢八厘 紫色

四 雜事ノ類

右 同二錢四厘 紅色

凡ソ訴訟裁許狀等ニ用ニル裁判所ノ罰紙ハ其負數ノ定價ヲ曲者ヨリ三日内ニ辨納スルトス

三 代言人規則

第一條 凡ソ代言人タラント欲スル者ハ先ツ專ハラ代言ヲ行ハント欲スル裁判所ヲ

示シタル願書ヲ記シ所管地方官ノ検査ヲ乞フヘシ地方官之ヲ検査スルノ後狀ヲ具シテ司法省ニ出ス然ル後其許スベキ者ハ司法卿之レニ免許狀ヲ下付ス

(第二條) 代言人ヲ検査スルハ左ノ件々ニ照スベシ

一 布告布達沿革ノ概畧ニ通スル者

二 刑律ノ概畧ニ通ズル者

三 現今裁判上手續ノ概畧ニ通スルモノ

四 本人品行并履歷如何

(第三條) 免許ヲ與フベカラザル者左ノ如シ

一 懲役一年以上實決ノ刑ニ處セラレシ者

二 身代限ノ處分ヲ受ケシ者

三 其地方内ニ定マリタル住居アラサル者

四 官職アル者

但準官吏タル者モ亦同シ

五 諸官負華士族及ヒ商家其他一般ノ雇人タル者

但雇主承諾ノ證昏アル者ハ此限リニアラス

(第四條) 既ニ免許狀ヲ與フレバ之ヲ司法省并各裁判所ノ代言人名表ニ登載ス
但免許狀ヲ得タル者ハ必ス該裁判所々在ノ地三里内ニ住居スヘシモ既ニ

該裁判所ニ免許ヲ得レバ
其管下支廳ハ遠近ニ拘ハ
ラズ代言ヲ爲スヲ得ヘ
シ

第五條 免許狀ヲ得タル者ハ
免許料トシテ金十圓ヲ司法
省ニ納メシム

但免許ハ一年ヲ以テ限リ
トス若シ引續キ其職務ヲ
行ハント欲スル者ハ満期
ノ節更ニ免許ヲ受クベシ

第六條 代言人代言ヲ爲スハ
必ズシモ同管轄ノ者ニ限ラ
ズ都テ双方ノ協議ニ任スヘ
シ

但免許セラレタル該裁判
所ノ外ハ代言ヲ爲スヲ得
ズトモ其或ハ控訴等ニ

テ從前手續ヲ以テ他ノ裁
判所ヨリ上等裁判所ニ出
ルガ如キハ此限リニアラ
ズ

第七條 代言人ヨリ訴訟本人
ニ對シ不正不實ノ証アル片
ハ本人ヨリ何時ニテモ裁判
所ヘ其由ヲ届ケタル上ニテ
代言ヲ辞シ更ニ他ノ代言人
ヲシテ代言セシムルヲ得ヘ
シ

第八條 代言人ハ訟庭ニ於テ
其訴答往復中ノ趣意ヲ辨
明シ裁判官ノ問ニ答フル者
トス若シ其辨論端緒ヲ失シ
詞訟ノ本旨ヲ紊乱シ裁判ノ
妨碍トナルハ裁判官之ヲ
制止スルヲ得ベシ

第九條)若シ訴答各中遺漏ノ件アル片ハ更ニ唇取リヲ差出サレシメタル上ニ非サレバ
代言人其事ヲ辨明スルヲ得ズ

第十條)裁判官ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ訴庭上原被双方互ニ論辨スルヲ得ズ

第十一條)告達諸規則ノコトニ付キ判官ニ向テ旨趣ヲ陳述スルヲ得ヘシトモ其是非及ビ法ノ原旨ヲ論議スルヲ得ズ

第十二條)代言人疾病事故アリテ本日出席スル能ハザレバ必ズ裁判所ヘ其旨ヲ届出ベシ若シ代言人故ナク出頭セズシテ聴訟延期スル片ハ

訴訟本人ノ爲メ並ニ相手方ノ爲メニ延期ヨリ生ジタル費用ヲ償ハシム

第十三條)代言人ノ謝金ハ代言人其訴訟本人トノ協議ヲ以テ其高ヲ預定スルモノトス

第十四條

一) 訴庭ニ於テ國法ヲ誹議シ及ビ官吏ヲ侵凌スル者

二) 訟庭ニ於テ臆察詐譎ノ辨ヲナス者

三) 相手方ヲ惡言凌罵シ其面目名譽ヲ汚ス者

四) 謝金ヲ前收シ又ハ過當ノ謝金ヲ貪ル者

五) 他人ノ貸借取引等ノ詞訟ヲ買取り自己ノ利ヲ

圖ル者

〔六〕詞訟ヲ教唆スル者

〔七〕故サラニ時日ヲ遷延シ

テ訴訟本人ノ妨害ヲナス者

ス者

右ノ如キ者ハ其輕重ヲ量リ

裁判官直チニ之ヲ罰スルヲ

得其罰目左ノ如シ

〔一〕譴責 〔二〕停業 一月以上

〔三〕除名 三年ヲ經ル後ニ非

サフ許

但、其罰重キ者ハ律ニ依

テ處斷シ本條罰目ト併

セ科スルコトヲ妨ケズ

第三條第一項ニ觸ル、

者ハ更ニ代言人タルヲ

許サズ

第十五條 此規則ニ掲ケル所

ノ者ハ他ノ法律成規ニ相觸ル、コトナシ

〔四〕出訴期限規則概畧

第一條 六ヶ月ノ種類

○學業ノ投業料○旅籠料

○商人互ノ賣掛金○運送

賃○諸職人ノ手間代金○

飲食料○日雇人ノ給料○

木戸契或ハ棧敷代○手附

金○請負金○藝妓ノ揚代

金

第二條 一ヶ年ノ種類

○醫師ノ診察及ヒ藥代○

授業師ヨリ門弟ヘ給與シ

タル食料○商人ヨリ商人

外ノ者ヘ賣掛代金○一ヶ

年期迄ノ奉公人給料

第三條 五ヶ年ノ種類

○期限ヲ定メタル貸附金
米并利息○同預ケ米金及
其利足共○家屋及ヒ土地
ノ貸借○物品ノ借料又ハ
損料○七ヶ年期マデノ奉
公人給料○期限ナキ年金
及ヒ一生涯ノ年金○小作
米金○証拠金○敷金○養
育料條約各文中期限ナキ
モノハ出訴ノ日ヲ期
限トス

⑤東京各區裁判所取扱假
規則

第一條(民事ノ訴訟ハ金額十
四以下ナリトス

第二條(刑事ハ懲役百日以下
ナリトス

第三條(民事ニ於テハ控訴ス
ル者ハ明治八年第九十三号

布告ニ照ラシ直ニ東京上等

裁判所へ出スヘシ

第四條(違警罪キケイザイヲ除クノ外刑

事ニ於テ上告スル者ハ明治

八年第九十三号布告ニ照ラ

シ直ニ大審院へ出スベシ

第五條(勸解ヲ乞フ者ハ詐狀

ヲ作ルニ及バズ直チニ談廳へ

願出テ其事コトガラ由ヲ陳述スルヲ

得ベシ

第六條(勸解ハ双方トモ必ス

本人自カラ出頭スベシ

但シ疾病事故等ニテ已テ

得ザル時ハ其代人トシテ

親戚又ハ定マリタル雇人

ヲ出スベシ

第七條(凡ソ勸解ハ必ズシモ

定規ニ拘ハラサル者トス

但シ勸解ト申レソノ不参
若クハ遅参ニ拘ハル者ハ
裁判所成規ニ據リ處分ス
ヘシ

⑥ 違式註違條例

第一條 違式ノ罪ヲ犯スモノハ
七十五匁ヨリ少カラズ一円
五十匁ヨリ多カラザル贖金
ヲ追徴ス

第二條 註違ノ罪ヲ犯ス者ハ
五匁ヨリ少ナカラズ七十匁
ヨリ多カラザル贖金ヲ追徴
ス

第三條 違式註違ノ罪ヲ犯シ
無カノ者ハ實決スルト左ノ
如シ

一 違式懲役 ハ日ヨリ少ナカ
ラズ十五日ヨリ

二 註違拘留 半日ヨリ少ナカ
ラズ七日ヨリ多
ス

第四條 違式并ニ註違ノ罪ニ
ヨリ取上ダベキ物品ハ贖金ヲ
料スルノ外別ニ没收ノ申渡
ヲ為スベシ

第五條 違式註違ノ罪ヲ犯シ
人ニ損失ヲ蒙ラシムル片ハ
先ヅ其損失ニ當タル償金ヲ
出サレノ後ニ贖金ヲ命ス
ベシ

○ 違式罪目

第六條 違式ノ罪ヲ犯スト雖
モ情状輕キ者ハ減等シテ註
違ノ贖金ヲ追徴シ註違ノ罪
ヲ犯スト申レ重キ者ハ加等
シテ違式ノ贖金ヲ追徴スベ
シ其犯ス所極メテ輕キハ止

、呵責シテ放免スルヲアル
ベシ

(第七條) 質造ノ飲食物並ニ質
敗ノ食物ヲ知リテ販賣スル
者

(第八條) 往來又ハ下水河中等
へ家作并ニ孫庇等ヲ自在ニ
張り出し或ハ河岸地除地等
へ願ナク家作スル者

(第九條) 春画及ビ其類ノ諸器
物ヲ販賣スル者

(第十條) 病牛死牛其他病死
ノ禽獸ヲ知リテ販賣スル者

(第十一條) 身体へ刺繡スル者

(第十二條) 男女入込ノ湯ヲ渡
世スル者

(第十三條) 乘馬シテ猥リニ驅
馳シ又ハ馬車ヲ疾驅シテ行

人ヲ觸倒スル者

但殺傷スルハ此限りニ非
ラズ

(第十四條) 外國人ヲ無届ニテ
止宿セシムル者

(第十五條) 外國人ヲ私ニ雜居
セシムル者

(第十六條) 町火消爲人足共町
々普請造営ノ節地所組合違
ノ者ヲ雇フ事ニ故障スル者

(第十七條) 夜中無燈ノ馬車ヲ
以テ通行スル者

(第十八條) 人家稠密ノ場所ニ
於テ安リニ火技ヲ弄ブ者

(第十九條) 火事場ニ關係ナク
シテ乘馬セル者

(第二十條) 願ナク床店簀簣張
等ヲ取建ツル者

第廿一條) 戲レニ往來ノ常燈
臺ヲ破毀スル者

第廿二條) 裸体又ハ袒裼シ或
ハ股脚ヲ露ハシ醜体ヲナス
者

第廿三條) 馬及ビ車留ノ揭示
アル道路橋梁ヲ犯シテ通行
スル者

第廿四條) 明治六年三月三日
廢止

第廿五條) 男女相撲并ニ蛇遣
其他醜体ヲ見世物ニ出ス者

第廿六條) 芥ニ條ノ如キ見苦
敷醜体ニテ乘馬スル者

第廿七條) 川端下水等へ土芥
瓦礫等ヲ投棄シ流通ヲ妨グ
ル者

第廿八條) 軒外へ木石炭薪等

ヲ積置ク者

○ 註違罪目

第廿九條) 狹隘ノ小路ヲ馬車
ニテ馳走スル者

第三十條) 夜中無提燈ニテ諸
車ヲ挽キ及ヒ乘馬スル者

但海陸軍ノ諸兵非常ノ警
戒アル時ハ勿論平日隊伍

ヲ組ミ夜陸行シ及定制ア
ル徽章ノ服帽ヲ着用ノ節

ハ草騎ト雖モ此ノ制ニア
ラス

第卅一條) 明治六年三月三日
廢止

第卅二條) 斟酌ナク馬車ヲ疾
馳セシメテ行人へ迷惑ヲ掛
クル者

第卅三條) 人力車挽ノ者強テ

乗車ヲ勸メ過言等ヲ申掛ル者

第卅四條 他人ノ園中ノ菓實ヲ採リ食フ者

第卅五條 馬車及ヒ人力車荷車等往來ニ置キ行人ノ妨ヲナシ及ヒ牛馬ヲ街衢ニ横タヘ行人ヲ妨ゲル者

第卅六條 禽獸ノ死スル者或ハ汚穢ノ物ヲ往來等へ投棄スル者

第卅七條 湯屋渡世ノ者戸口ヲ明放チ或ハ二階へ見隠シ簾ヲ垂レガル者

第卅八條 居宅前掃除ヲ怠リ或ハ下水ヲ浚ハガル者

第卅九條 婦人ニテ謂レナク斷髮スル者

第四十條 荷車及ヒ人力車行逢フ節行人ニ迷惑ヲ掛ケシ者

第四十一條 下掃除ノ者蓋ナキ糞桶ヲ推送スル者

第四十二條 旅籠屋渡世ノ者止宿人ノ名ヲ記載セズ或ハ之ヲ届出ザル者

第四十三條 往來筋ノ號札又ハ人家番号名札看板等ヲ戲レニ破毀スル者

第四十四條 喧嘩口論及ヒ人ノ自由ヲ妨ゲ且驚愕スベキ噪鬧ヲナシ出セル者

第四十五條 往來常燈ヲ戲レニ消滅スル者

第四十六條 疎忽ニヨリ人ニ汚穢物及ヒ石礫等ヲ抛洗

セシ者

(第四十七條) 田園種藝ノ道ナキ場ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽キ入ル者

(第四十八條) 明治六年七月十五日廢止

(第四十九條) 市中往來筋ニ於テ便所ニ非ザル場所へ小便スル者

(第五十條) 床先ニ於テ往來ニ向ヒ^{コドモ}幼穉ニ大小便ヲセシムル者

(第五十一條) 荷車及ヒ人力車等ヲ並べ挽キテ通行ヲ妨ゲセシ者

(第五十二條) 誤テ牛馬ヲ放チテ人家ニ入レシメシ者

(第五十三條) 犬ヲ^{クハカ}闘ハシメ及

ビ^{ケガレ}戲ニ人ニ^{ケガレ}嚇スル者

(第五十四條) 巨大ノ紙^{タコ}鳶ヲ揚ゲ妨害ヲナス者

(第五十五條) 醉ニ衆シ戲レニ車馬往來ノ妨碍ヲナス者

(第五十六條) 格子ヲ揆キ塙塙ヲ攀ヂ徒ラニ顔面ヲ出シ往來ヲ^{ケガレ}瞰^{ケガレ}嘲弄スル者

(第五十七條) 牛馬ノ繫キ方ヲ忽ニシテ他ニ妨害ヲナス者

(第五十八條) 遊園及ヒ路傍ノ花木ヲ折リ或ハ植物ヲ害スル者

(第五十九條) ^違追加制禁ノ場所ニテ竹木ヲ伐リ魚鳥ヲ捕フル者

(第六十條) ^註追加道傍又ハ人家ニ於テ強テ合力ヲ申掛ケ或

ハ押賣スル者

第六十一條) 追加 神佛祭禮ノ

節 在話人等強テ出費ヲ促ス

者

第六十二條) 同 男ニシテ化粧シ

女ニシテ男粧シ或ハ奇怪粉

飾ヲ爲シテ醜体ヲ露ス者

但俳優歌舞妓等ハ勿論女

ノ着袴スル類ハ此限ニア

ラズ

第六十三條) 同 牛馬其他諸獸

ノ斃レタル者皮ヲ定マリタ

ル場所外ニ於テ剥キ取ル者

第六十四條) 同 猥リニ筏ヲ橋

梁又ハ林木ニ繫キ或ハ通船

ヲ妨グル可キ所ニ泊スル者

第六十五條) 同 牛乳搾取規則

ニ違背致ス者

第六十六條

註 追加 制限ニ背キタ

ル筏ニテ川筋ヲ往來スル者

第六十七條) 同 官林官園及ヒ

公園等ニ揭示セル禁條ヲ犯

ス者

第六十八條) 同 豚肉營業規則

ニ違背スル者

⑦ 代人規則

第一條) 凡ソ何人ニ限ラズ已

ノ名義ヲ以テ他人ヲシテ其

事ヲ代理セシムルノ權アル

可シ

但シ本人幼年等ニテ其事

理ヲ辨シ難キ時ハ其後見

人及ヒ親族ノ者協議ノ上

代人ヲ任ズルヲ得ベシ

第二條) 凡ソ他人ノ委任ヲ受

ケ其事件ヲ取扱フ者ハ代人

ニシテ其事件ヲ委任スル者ハ
本人ナリ故ニ代人委任上ノ所
業ハ本人関係タルベシ

(第三條)凡ソ代人ハ心術正實
ニシテ滿二十歳以上ノ者ヲ
撰ムベシ

(第四條)代人ハ總理代人部理
代人ノ別アリ總理代人ハ其本
人身上諸般ノ事務ヲ代理ス
ル者ニシテ部理代人ハ時々
其委任スル部内ノ事務ヲ代
理スルヲ得ル者トス

(第五條)凡ソ本人ヨリ代人ヲ
任シ他人ト契約取引ヲ為サ
ント欲スル片ハ必ス實印ヲ捺
シタル委任状ヲ與フベシ
但家業ヲ取扱フ場所ニテ
通常ノ事務ヲ取扱ハシム

ルノ類ハ別段委任状ヲ與
フルニ及バズ

(第六條)委任状ハ總理代人又
ハ部理代人タル事及ヒ其委
任シタル權限ヲ明白ニ記ス
ベシ

(第七條)委任状書式
但用紙ハ印稅規則証券界
紙ヲ用ユ訴訟ニ就テ代言
人ヲ任ズルはモ此各式ニ
從フベシ

委任状之事

拙者儀某ノ事件ニ付何ノ誰
ヲ以テ總理代人ト定メ拙者ノ名
義ニテ左ノ權限ヲ代理為致候事
一何々之事但權限ノ次第ヲ
右代理之委任状仍テ如件

年月日

住所 族籍 氏名印

後見人等ハ住所族籍何之
誰ノ後見人何之誰ト記ス
ベシ

(第八條) 代人ヲ委任スルノ期
限ハ預メ規定シ難キモノト
スルモ其本人幼弱疾病事故等
ニテ長ク委任セントスル片ハ
其地方ニ新聞紙アラバ之ニ
記入セシメ世ニ公布スベシ

(八) 訴訟入費償却規則

(第一條) 訴狀其外書類認料二
枚十六行十五字詰ニテ十錢但
シ一枚以下同價

右定限

原告人ノ訴狀ノ正本副
本

被告人ノ答書ノ正本副
本

(三) 訴狀又ハ答書中ニ記載
シ難キ証拠ノ書類ノ寫

(四) 審判中ニ原告又ハ被告
ヨリ差出シタル証拠ノ書
類ノ寫

(五) 訴訟中訴狀ニ關係スル
事件ニ付原被双方往復ノ
文書

(第二條) 証人并ニ引合人差添
人手當一日ニ付五拾錢但シ
八里以外ヨリ罷出止宿ノ者
ハ二十五錢ヲ増ス

右定限

(一) 裁判所へ出席ヲナシタ
ル日

(第三條) 証人并ニ引合人差添
人旅費(滿八里ニ付十錢歸路
モ同斷但シ八里ヲ越ユルハ每

滿一里ニ付十錢

右定限

① 兩線ノ官道甲路ハ遠ク
乙路ハ近キ并ハ現ニ甲路
ヲ經ルト虫居乙路ヲ以テ
算計スベシ

② 本條ハ日本國管内ヲ通
行スル者ノ為メニ設ク

第四條 原告人又ハ被告人直
ナル者ノ手當一日ニ付五十
錢但シ八里外ヨリ罷出止宿
スル者ハ二十五錢ヲ増ス

右定限

① 裁判所へ出席ヲナシタ
ル日

第五條 原告人又ハ被告人直
ナル者旅費滿八里ニ付十錢
歸路モ同断但シ八里ヲ越エ

レハ每滿一里ニ付十錢

右定限

① ② 第四條ト同シ

第六條 通辨料一日ニ付金
三円

右定限

① 裁判所へ出席ヲナシタ
ル日往返旅費モ定額ノ通
リ計算スベシ

第七條 翻譯料一枚ニ付十六
行十五字語二円但シ一枚以
下モ同價

右定限

① ② ③ ④ ⑤ 第一條ト同シ

第八條 測量繪圖認料

右定限

① 長サ三百間ニテ尽ク片
ハ百間ニ付一尺ノ割西ノ

内一枚ニ付十疋)

③長サ六百間迄(百間ニ付五寸ノ割西ノ内一枚ニ付十二疋)

④長サ千二百間迄(百間ニ付三寸ノ割西ノ内一枚ニ付十四疋)

⑤長六千間迄(百間ニ付二寸ノ割西ノ内一枚ニ付十七疋)

⑥長一方二千間迄(百間ニ付一寸ノ割西ノ内一枚ニ付二十疋)

⑦長一万二千間以上(百間ニ付五分ノ割西ノ内一枚ニ付二十四疋)

測量ニ及バザル見取り繪圖ハ間數ノ長短ヲ論セズ

大凡見積ヲ以テ簡便ニ図

引致スベシ(但西ノ内一枚

ニ付十疋)

第九條)使賃(ツカヒチン)(滿一里ニ付十疋

一里未滿五疋但シ歸路モ同

断

右定限

①裁判所ニテ示談中双方承諾ノ上原告被告双方又ハ一方ノ者ヨリ遣(ツカ)シタル使賃

②裁判所ニテ示談中原原告又ハ被告一方ノ者掛裁判役ノ檢印ヲ經タル使賃

③原告又ハ被告一方ノ者出訴中違約シテ出席セザル時掛裁判役ノ檢印ヲ經テ違約ヲ責ムル使賃

④原告被告双方ノ為メ又

ハ一方ノ為メニ双方又ハ一方ノ者ノ申立ニヨリ裁判所ヨリ臨時ニ遣シタル使賃

第十條 郵便并ニ電信料(定價)右定限

○三○四 第九條ト同シ

第十一條 身代限リヲ為スニ付裁判所又ハ縣廳又町役場ニ納ムベキ評價人監定人等ノ日雇賃金ノ諸入費及ビ身代限諸費

臨時計算ヲ以テ之ヲ定ム(右ハ前數條ノ入費ニ先ツテ取立ツベシ)

九 裁判所取締規則 附民事傍聽規則

第一條 訟庭ハ訴訟口詰必ス出席シ詞訟人ヲ順次ニ呼込シ裁判官ノ命ニ從ヒ失敬又ハ紛開ノ事アラザル様其取締ヲ為スベキ事

第二條 原被告人ヲ始メ代人等總テ訟庭ニ出ヅル者ハ呼込ノ次第ニ從ヒ沈黙整列シ裁判官出席スレバ各々起テ禮ヲ為スベシ

第三條 原被等共ニ其事情ヲ余蘊ナク幾回モ詳細ニ陳述スベシト申トモ互ニ先ツ發言スル者ノ言終リタル後ニ非サレバ更ニ其言ヲ発スベカラズ

第四條 凡ソ進退動作輕躁ニ涉ラズ言語ハ憤怒高激ニ涉ラズ悖々トシテ其事情ヲ陳

述シ且裁判官ニ對シテ尊敬
ヲ致スニ注意スベシ

(第五條)前條ニ記載シタル
ヲ守ラズ裁判官ニ對シ尊敬
ヲ欠クモノアルトキハ裁判官
直ニ譴責ヲ加フ

(第六條)譴責ヲ加フベキ者ア
ルハ其裁判ヲ中止シ犯則ニ
關係ナキモノハ一旦扣所ニ退
カシメ然ル後犯則ノ者ヲ譴
責スベシ

(第七條)裁判官ヲ罵ル者アル
ハ前條ノ如ク其裁判ヲ中
止シ之ヲ斷獄課ニ付シ本律
ヲ科スベキ事

(第八條)裁判ノキ公聴ヲ許サ
レタル者ハ人々皆沈黙敬聽
スベシ

但シ裁判官審問ノ際公聴
ノ者若シ紛鬧シテ審問ノ
妨碍アリト思量スルハ
便宜ヲ以テ訴訟口詰ニ命
ジ公廳ノ者ヲ退カシムベ
シ

(第九條)期限呼出シテ受クル
者疾病又ハ無據事故アリテ
遲参又ハ不参スルハ其事
実ヲ明細ニ記載シタル届書
ヲ呼出期限前裁判所ニ差出
スベシ若シ期限後届ケ出ル
カ又ハ無届ニテ遲参不参ヲ
致ス者ハ斷獄課ニ回シ違式
ノ輕重ニ問ヒ相當ノ罰金ヲ
科スベキ事

⑩ 民事裁判傍聽規則

(第一條)民事訴訟審判ノ義人

民一般傍聽差許シ候条此旨
 布告候事但シ男女ノ間ニ起
 リシ風儀ニ関スル訴訟ハ此
 ノ限ニ非ズ

第二條 傍聽セントテ願フ者
 ハ裁判所庶務課ヘ名刺^{ナリダ}姓名^{住所}
 フ出シ其許可ヲ得テ後訟庭
 ニ出ヅベキ事但シ當日訟庭
 ノ都合ニヨリ其數ヲ減省シ
 又ハ一同差許サイルモ之レ
 アルベシ

第三條 傍聽人訟庭ニ就クノ
 心得ハ裁判所取締規則第八
 條并ニ但書ノ通りタルベキ
 事

① 證券印税規則表

紙印	種類	定價
淡黒	色	一錢
桃	色	五錢
青	色	十錢
黄	色	五錢
橙	色	五錢
紅	色	四錢
深紫	色	四錢
深紅	色	六錢

種類 大判 中判 小判
 定價 七厘 五厘 三厘
 界紙ニ三種アリト申モ其証文
 義長短ニ因リ何種ヲ用ルモ適宜トス

第一類 證
 ○賣品并ニ職業ニ関スル金契受取書
 ○貨物預リ書并小札
 ○金高十兩以上總テ契印紙ヲ用フル部
 ○預メ金証文并手形○耕地小作証文○遺金証文
 ○諸會社株手形○荷物送り状
 ○諸品公債証書
 ○諸會社株手形○荷物送り状
 ○諸品公債証書

第二類
 ○為換手形并置手形○荷為換手形
 ○諸受員証文○金錢約定証文○金錢
 約定為取換証文○借地証文○借家証
 文○米穀并諸品賣買約定証文○米并雜
 穀借用証文○賣買用諸品^{代價}以上借用
 証文○金十兩以上記載雇入受状○諸賣買
 證文金預リ手形○諸敷金証文
 印紙
 金高十兩以上并四兩以上
 以上幾許
 用米高五兩以上
 十兩以上
 十兩以上
 十兩以上
 十兩以上
 十兩以上

第一類		第二類		第三類	
<p>○金銭判取帳 ○貨物通帳</p> <p>一ヶ年以上見積金高百円以上</p> <p>金高ニ應シ印紙ヲ用フル部</p>		<p>○貨物通帳 ○金銭一時貸借通帳 ○諸品損料帳 ○高賣品當座貸借通帳 ○金銭預通帳</p> <p>一ヶ年以上見積金高百円以上</p> <p>金高ニ應シ印紙ヲ用フル部</p>		<p>○諸酒 諸酒類一斗以上</p> <p>○食類米油醬油其外諸品賣買切手</p> <p>右金高ニ應シ印紙ヲ用ズ</p>	
<p>○金銭當座預リ帳</p> <p>一ヶ年以上見積金高百円以上</p> <p>金高ニ應シ印紙ヲ用フル部</p>		<p>○荷物受取書</p> <p>右送状附添分</p> <p>○金高記載無之</p> <p>右総テ界紙ヲ用フベシ</p>		<p>○諸酒 諸酒類一斗以上</p> <p>○食類米油醬油其外諸品賣買切手</p> <p>右金高ニ應シ印紙ヲ用ズ</p>	

第一類		第二類		第三類	
<p>○金銭判取帳 ○貨物通帳</p> <p>一ヶ年以上見積金高百円以上</p> <p>金高ニ應シ印紙ヲ用フル部</p>		<p>○貨物通帳 ○金銭一時貸借通帳 ○諸品損料帳 ○高賣品當座貸借通帳 ○金銭預通帳</p> <p>一ヶ年以上見積金高百円以上</p> <p>金高ニ應シ印紙ヲ用フル部</p>		<p>○諸酒 諸酒類一斗以上</p> <p>○食類米油醬油其外諸品賣買切手</p> <p>右金高ニ應シ印紙ヲ用ズ</p>	
<p>○金銭當座預リ帳</p> <p>一ヶ年以上見積金高百円以上</p> <p>金高ニ應シ印紙ヲ用フル部</p>		<p>○荷物受取書</p> <p>右送状附添分</p> <p>○金高記載無之</p> <p>右総テ界紙ヲ用フベシ</p>		<p>○諸酒 諸酒類一斗以上</p> <p>○食類米油醬油其外諸品賣買切手</p> <p>右金高ニ應シ印紙ヲ用ズ</p>	

諸帳簿印紙貼用雜形	
<p>第一類第二類帳簿一ヶ年以上附込 ムベキ見積金高各 式通帳簿ノ初下 自身ニ相記シ其金 高ニ應シタル印紙貼 用ノ上必ス実印ヲ以テ 調印致スヘシ 但金高未滿候迄ハ何 ヶ年相用候トモ苦シ カラス</p>	<p>第三類帳簿ハ其帳簿可相用年限ヲ 見積リ書致シ通帳 簿ノ初下ハ自身ニ相 記シ其年限ニ應ジ タル印紙ヲ貼用ノ上 必ス実印ヲ以テ調印 致スベシ 但年限相滿候迄ハ 何箇數附込候モ 苦シカラス</p>
<p>第一類 第二類 合附込ノ積金何箇 第三類 何年何月迄滿何年 何年何月迄 附込濟 右之通帳相違無 候以上 年月日何之誰印</p>	<p>第一類第二類附込見 積金高相滿候カ又 ハ第三類帳簿期限 相滿候節ハ其帳簿 ニ書式ノ通與書ノ上 調印イタシ置以テ 巡回ノ節差出候 印ヲ受クヘシ</p>

印紙貼用セル諸帳簿ハ其表紙ノ
端へ印稅濟又附込見積金高百
円未滿ニ印紙貼用ニ不及ル諸
帳簿ニハ前同様無稅帳ト頭然

有稅無稅ノ分別ヲ朱ニテ相記シ
取引先キノ便ニ候様可致事

一旦印紙貼用ノ諸帳簿第一類金高
相滿第三類年限相滿餘白ノ紙數
有之再用ノ節ハ尚書式ノ通相
認メ印紙貼用スヘシ

第二類ノ証各ヲ便利ノ為メ帳簿ニ
相綴リ書載候節ハ其附込簿ニ
印紙貼用致スヘシ

諸帳簿ハ掛リ官負巡回調査ノ節
ハ前以テ可相達候条無遺漏調
査ヲ受クヘシ

諸証書ニ外國貨幣ヲ記載スル分
ハ其節ノ相場ヲ以テ御國內貨幣
ニ計算シ其高ニ應シ印紙貼用
致ス可シ

公債證書ハ其賣買ノ正金高ヲ以
テ計算シ其高ニ應シ印紙貼用
致スヘシ

諸證書ヲ差戻シ又ハ諸切手類現
品引換ノ節戻シ主ニテ嘗テ調印
シタル印紙面ヲ塗消シ或ハ引
裂キ相戻スヘシ

各町問屋ヲ經テ送致スル送状有之荷
物ヲ途中若湊問屋ニテ引分ケ各
別ニ送致ノ節新規送状ハ規則

之通印紙貼用スルシ
 五円以上四角兩種ノ印紙ハ賣捌ノ許可
 ヲ受ケタル各地銀行并各府縣
 廳為換方御用相勤候者ニ限り
 賣捌為致候事

印稅規則ニ相觸レ候段相頭ハレ過
 料金差出シ後ニ至リテモ其證書
 帳簿ハ取揚ケ裁判不相成候事
 印紙貼用之レナキ證書ヲ以テ公裁
 ヲ仰ガント欲スル節ハ受取主ニ於
 テ相當ノ印紙ヲ貼用シ調印済上ハ
 取上ケ裁判可致事 但帳簿類モ同斷
 諸證書ノ内界紙可相用處他紙ヲ
 相用候證書ヲ以テ前同斷ノ節ハ
 受取主ニ於テ其證書各ハ一契印紙
 ヲ貼用シ調印済ノ上ハ取揚ケ裁
 判可致事

最初帳簿附込見積金高百円以
 内ト見込印紙貼用セス官負ノ調
 査ヲ受ケザルモノ漸々附込相高
 誤テ百円以上ニ及ヒ候者ハ附込
 金高二百円以内ニテ他ヨリ免覺
 セル以前ニ印紙貼用調印ノ上其
 管轄廳ニ調査ヲ受ケ候ニ於テハ犯
 則ノ限リニ無之事

過料 罰則 例

十錢	証券界紙相用フヘキ証各類 東紙用 与ル者界紙定價三種平均壹ノ三十倍
五錢	右証各受取リタル者ハ界紙定價 三種平均壹ノ十倍
脱稅高 一契 十枚	第三類ノ證書并第三類ノ諸帳 簿ハ印紙ヲ貼用セザル者
脱稅高 一契 十枚	印紙貼用無之証各ヲ受取リタル者 ○諸証各并帳簿ニ印紙不足貼用 セシ者○二類印紙貼用ノ帳簿見 積金高付込相済餘白ノ紙數之 上ハ更ニ印紙貼用セズ尚付込候者
脱稅高 一契 十枚	第三類帳簿ハ印紙貼用セザル者
脱稅高 一契 十枚	第三類印紙貼用ノ帳簿期限滿 餘ノ紙數之レアル片更ニ印紙貼用 セズ尚付込候者
三十円以下	規則ニ從テ貼用セシ諸證書并帳簿 ノ印紙ニ調印セザル者
廿五円以下	印紙貼用セザル方及ハ印紙不足ナル方 或ハ貼用ノ印紙ニ調印セザル方及ハ東 紙相用ニキ諸證書ニテ界紙用ト シ証各証人ニ相立又ハ真印等致 シ候者
百倍 一契 一円	官許賣捌所ノ外於テ印紙界紙賣 捌致シ候モノハ其取上ケ既賣捌 名代台倍又ハ其情ヲ知テ之ヲ買 マシ者ハ其品取揚代ノ五十倍
五十倍 同 五十契	印紙貼用致スヘクシテ全ク貼用之 レナク諸帳簿ニ調印致シ候者ハ 其人毎帳簿主ヨリ取立候過料高 百分ノ一各過料タルヘシ
過料高十 一厘	一旦相用ニ調印セシ印紙ヲ再用セシ トシテ之ヲ利取リ調印ス洗滅スル 者或ハ洗滅シタル者ト知テ之ヲ再 用スル者又ハ之ヲ賣買スル者
六十円以下	

九十円以下

印紙票紙ヲ賣造ル者又ハ賣造セ
シ品ト知リテ之ヲ買買スル者

賞例

犯人ヲ見届テ訴出ル者ハ事
實取ル
料高ノ半高ヲ下サルハ事

⑬ 身代限規則

平民身代限抵償トシテ指押

フベカラザル品類

一時服着替共男女性各

一夜具男女性各

一通ツク

一本ノ職業ヲ為スニ必要ナ

ル諸品物

但學藝ヲ人ニ教ヘ又ハ農

工商等職業ニ必要ナル書

類器械品物等其金額五十

円ニ至ルマデ最モ本人ノ

擇ム所ニ任カスベシ其値

ハ貸主借主ヨリ監定ノ者

道具一人ツ、差出シ外入

札人ト共ニ入札致サセ

役人ニ於テ總テ入札ヲ比較

シ高札ヲ以テ其價ヲ定ム

ハキ事

一食料 家族ノ人口ヲ量リ

一ヶ月用フル飯米ヲ残シ

置クベキ事

但男丁ハ一日ニ五合麥ハ

壹升雜穀ハ一升五合婦女

幼少ハ四合麥ハ八合雜穀

ハ一升ニ合ツ、ノ事

一鍋釜及炊具 各一通リ

華族士族身代限リ抵償ト

シテ差押ラベカラザル品

類

一家祿

但シ人口ヲ量リ年々飯

米ヲ引残シ其餘分無キ

カ或ハ不足ノトハ其半

高ヲ返金洵マデ金主ヘ渡サ

セ候事

一冠^{クラウソク}版 男子一人ニ付 各一通ツ

一時服着替共 男女共各ニ通ツ

一夜具 男女共各一通ツ

一本人職業ヲ爲スニ必要ナル 諸品物

但學藝ヲ人ニ教ヘ又農工

高等職業ニ必要ナル書

類及ヒ諸器械品物等ハ

金額五十圓ニ至ルマデ尤

モ本人ノ擇ム所ニ任ス可

シ其值ハ貸主借主ヨリ監

定者屋道類一人ヅ、差出シ

外入札入ト共ニ入札致サ

セ町役人ニ於テ總テ入札

ヲ比較シ高札ヲ以テ其值

ヲ定ムヘキ事

一鍋^カ釜及ヒ炊具類各一通

右身代限リノ節ハ三十日間

裁判所門前高札場并ニ本

人家宅へ揭示ヲ出シ其次弟

傳^{キツタヘ}承日限中追願ノ者ハ取札

ノ上處置スヘキ事

一前條ニ記スル所ノ引キ残ス

ベキ必要物件ノ内赤々代價

ヲ拂ハザル今ハ賣主ヨリ日

限内訴出レバ現品ヲ取戻ス

トヲ得ベシ

但現在着用ノ衣類夜具ハ

此限ニ非ス

一身代限ノ物件ハ入札拂ニ

出スベシ尤金銀器等ノ定價

判然タル物品ハ真價ヨリ低^{ヤスシ}

ク賣拂ヲ可カラズ且賣拂金

ノ總額ハ其者ノ負債及ヒ右

一件ノ諸費ヲ償フニ過クベカラズ

但入札拂ノ日ヨリ三日前

ニ其物品及ヒ場所時刻ヲ

裁判所門前並ニ其者ノ居

宅及ヒ各地士民群集ノ処

ヘ揭示シ及ヒ新聞紙ヲ刊行

スル地ニ於テハ又之レニ記載

セシムベシ且貸主借主ヨリ

差出セシ監定ノ者モ他入ト

共ニ入札致サセ村役人ニ於

テ総テ入札ヲ比較シ高札ヲ

以テ其價ヲ定メ之レヲ現金

ニテ取立裁判所エ差出ス

ベシ

⑤ 曾侶身代限規則

抵償トシテ差押アベカラ

サル品類

一 食料 寺内ノ人口ヲ量リ

僧侶ハ一日ニ五合麥ハ一升

雜穀ハ一斗五合尼及ヒ婦女

幼少ハ四合麥ハ八合雜穀ハ

一升ニ合ツ、一ヶ月間用フ

ル飯米ヲ残シ置クベキ

一 建物 法用ニ必用ナル箇所

但シ堂ヘ建添ヘ候トモ

栄耀ニ属スル箇所ハ此

限リニ非ズ

一 寄附帳ニ記載スル部分

一 什物帳ニ區別シテ記載ス

ル古來傳承ノ寶物并法用

ニ必要ナル部分

一 法衣 寺主所化及ヒ尼共

各一通ツ、

一時服着替共 寺主所化

婦女共各一通ツ、

一夜具 寺主所他婦女トモ
各一通ツ、

鍋釜及ヒ炊具類 各一通

一本人職業ヲ為スニ必要ナル金額五十円ニ至ルマデノ物品ヲ差除ク等其他ノ方法華士族平民身代限ニ同シ

④ 同揭示ノ案

何村町

何之誰

右之者儀何村町何ノ誰ヨリ
貸金滞出入出訴ニ及ビ吟味ノ上身代限申付ルニ付若シ何ノ誰ヘ掛リ同様ノ願ヒゴレアル者ハ當何日ヨリ來ル何月何日迄日數六十日ノ内ニ申出ヘク右日

限過ギ去リ訴出ルニ於テハ此度ノ割賦ニ差加ヘズ者ナリ

年月日 某裁判所

控訴上告畧則

第一條 凡ソ府縣裁判所ノ初審ニ服セズシテ再ヒ上等裁判所ニ訴ヘ覆審ヲ求ムル者之ヲ控訴ト云フ

第二條 控訴ハ民事ニ止マリ刑事ニ及ハズ

第三條 控訴ハ一タビ之ヲスル丁ヲ得再ビ之ヲスル丁ヲ得ズ

第四條 府縣裁判所ニ於テ裁判ノ言渡ヲ受ケ原被双方又ハ一方ノ者其裁判ニ不服ナル片ハ裁判言渡ノ翌日ヨリ

第七日マデニ裁判言渡ノ事理ヲ熟考シ其翌日ニ至リ控訴スルコトヲ得可シ但シ商事ニ係ル訴訟ニテ急ニ控訴セシムル欲スル者ハ七日ノ内ト申出亦妨ゲナシ

第五條 府縣裁判所ノ裁判言渡シヨリ三ヶ月三十日ヲ以テ一月トスヲ過クルトキハ控訴スルコトヲ許サス但シ府縣裁判所ヨリ上等裁判所ニ至ルノ距離八里毎ニ一日ノ猶豫ヲ増スベシ

第六條 控訴ヲナス者ハ其初審ヲ受ケタル府縣裁判所ニ届ケ出ツベシ但シ添翰ヲ乞フニ及バズ

第七條 民事上告ハ已ニ上等裁判所ニ控訴シテ其審判ヲ終タ

ル者ニ限ルベシ

第八條 上告ヲ為サントスルモノハ裁判言渡ヨリ二月内ニ上告状ヲ大審院ニ捧グベシ而テ尚時被告人ニ通知スルヲ要ス若シ原裁判所ヨリ大審院へ至ルノ距離八里ヨリ遠キハ二月ノ外八里毎ニ一日ヲ増ス此定規ヲ過グレバ上告スルコトヲ許サス

第九條 上告中ニハ必ず左ノ事實ヲ記載スベシ

- 一 原告人ノ住所身分氏名
- 二 代言人アレバ其住所身分氏名
- 三 被告人ノ住居身分氏名
- 四 證拠人及ヒ引合人等アレバ其住所身分氏名

五 府縣裁判所ニ出訴シ又ハ被

告ニテ呼出サレタル年月日及
ビ裁判言渡シラ受ケタル年月
日、

第十條)上告状ハ正本一冊及ビ
副本五冊ヲ差出スベシ

第十一條)上告状ニハ必ず左ノ各
類ヲ添テ差出スベシ

一)府縣裁判所ニ於テノ訴状
并ニ答書ノ寫及ビ裁判言渡各
ノ寫

二)上等裁判所ニ於テノ訴状
并ニ答書ノ寫及ビ裁判言渡各
ノ寫

三)上告中ニ証拠ト為スベキ書
類ノ字ヲ編冊シ各番号ヲ朱
書ニシテ差出スベシ

第十二條)右ノ訴答及ビ証拠ノ各
類ノ字ヲ所持セザル者ハ原裁

判所ニ出願シテ訟庭ニ於テ寫
取ルヲ得ヘシ若シ原裁判
所ニ於テ書類寫取ノ出頭ヲ
許サザルニ因リ上告人其寫ヲ
出スヲ能ハザルハ其旨ヲ
上告状中ニ記載スベシ

第十三條)上告状ハ原告人自ラ之
ヲ捺グルモ又ハ代言人ヲシテ之ヲ
捺グシムルモ本人ノ意ニ任カス

第十四條)原告人又ハ代言人大審
院ノ民事課ニ於テ判事列席庭ニ
臨ミ上告状ヲ讀上ケ且ツ判事ノ審
問ニ對シ其理趣ヲ弁明シ然ル後
判決スルト否トノ言渡ヲ受クベシ
第十五條)呼出状ヲ受ケタル被告
人ハ其日ヨリ三十日内ニ答書ヲ
作り自身又ハ代言人ヨリ之ヲ大
審院ニ捧グベシ但シ被告人ノ住

所ヨリ大審院ニ至ルノ距離八里ヨリ遠キハ八里毎ニ一日ヲ増ス可シ

(第十六條)原被對審ノ節ハ判事列席庭ニ臨ミ初ノニ專理員一件始末ヲ宣讀シ次ニ原告ノ陳述次ニ被告ノ陳述次ニ原被交互ノ論辨終リテ後ニ原告人理アリト決スル片ハ何々ノ理由ヲ以テ原裁判所ノ裁判ヲ破毀スルニ付更ニ某裁判所ニ於テ裁判ヲ受クベキ旨又ハ大審院ニ於テ裁判スベキ旨ノ言渡シヲ受クベシ

第十七條若シ原告人ノ上告理ヲシト決スル片ハ何々ノ理由ヲ以テ上告ヲ斥ル旨ノ言渡シヲ受クベシ

(二)郵便ニ關スル諸規則

(一)郵便稅則概畧

郵便ハ總テ日本國內遠近ニ因ラズ左ノ割合ナリ

(目方二匁迄) 二錢

(同四匁迄) 四錢

(同六匁迄) 六錢

目方二匁毎ニ二匁ヲ増ス

ベシ

又市中(東京住居ノ人ヨリ東京住居ノ人ニ送ル)ハ左ノ割合ナリ

(目方二匁迄) 一錢

(同四匁迄) 二錢

(同六匁迄) 三錢

目方二匁毎ニ一匁ヲ増ス

ベシ

又別配達ハ其目方ニ因ラズ本稅ノ外左ノ増稅ヲ添ヘ朱ニテ

別配達ト書スベシ

(東京市中ハ) 八錢

(京大坂市中ハ) 六錢

書留ハ目方ニ因ラズ

(増税) 六錢

郵便局ヲ置カザル村在等ハ

(増税) 一錢

先辨ハ其届先キヨリ一倍増

ヲ拂フベシ

郵便ヲがき

(市中ハ) 半錢

(國內ハ) 一錢

又書籍并ニ見本ノ税額ハ左ノ

割合ナリ

(目方八匁迄ハ) 二錢

(同十六匁迄ハ) 四錢

目方八匁毎ニ二錢ヲ増ス

ベシ

総テ上木ノ書籍并ニ印刷シタル

直段書紙取ノ寫真等ニ至ル迄

開封又ハ無封ハ右ノ割ニ扱ル

ベシ

郵便爲替税ハ里程ニ因ラズ左ノ

割合ナリ

(金額五円迄) 五錢

(同十円迄ハ) 八錢

(同二十円迄) 十二錢

(同三十円迄) 十五錢

爲替取扱ハ毎日午前十時ヨ

リ午後四時迄ナリ

爲替一枚高三十円ヲ限リ

トス

爲替ノ事ニ因リ郵便局取

送局へ書面ヲ出スハ総テ

無税トス

爲替相渡返却期限ハ三ヶ

月ヲ限リトス

② 金子入書状遍送概表

通運會社ノ部						郵便局ノ部								
百圓外	百圓内	五十圓	百圓内	百圓内	百圓内	百圓外	百圓内	百圓内	百圓内	百圓内	百圓内	百圓内	百圓内	百圓内
						十五圓	十二圓	十圓	八圓	六圓	四圓	三圓	二圓	一圓
二十圓	十五圓	十圓	八圓	六圓	四圓	十八圓	十四圓	十圓	九圓	七圓	五圓	三圓	二圓	一圓
三十圓	十五圓	十圓	八圓	六圓	四圓	廿七圓	廿一圓	十五圓	十三圓	十圓	七圓	五圓	三圓	二圓
四十圓	三十圓	二十圓	十六圓	十二圓	八圓	三十六圓	廿八圓	廿圓	十八圓	十四圓	十圓	七圓	五圓	三圓
五十圓	三十圓	二十圓	十六圓	十二圓	八圓	四十五圓	三十五圓	廿五圓	廿圓	十五圓	十圓	七圓	五圓	三圓

③ 外國船乗込規則

第一條 外國船ニ乗込旅行セシトスル者ハ出船當日或ハ二日前其屬籍住所姓名及ビ何國人所持船何号ニ乗込何港へ赴ク旨ヲ具シタル届書ヲ其出船スル地ノ廳へ差出シ乗船証書ヲ受クベシ

第二條 乗船証書ハ一人一枚タルベシ

第三條 乗船証書ヲ受取ルニハ二枚ニ付手数料トシテ金共五圓ヲ納ムベシ

第四條 乗船証書ハ每人親ヲ出願シテ受取ルベシ代人ヲ以テスルヲ許サズ

第五條 乗船証書ハ着港上陸ノ上其地警察官吏ニ返付ス

ベシ其途中一時上陸(例ハバ

横濱港ヨリ長寄港ニ至ルモノ
其船舶神戸港ニ卸碇シタル
時用便ノ為暫時上陸スルノ
類スル者ハ其地臨檢警察官
吏ニ其證書ヲ檢閱^{シテ}受クベシ
第六條) 乗船證書ハ一度ノ出船
ニ用アル者トス故ニ途中ヨリ上
陸スルカ又ハ事故アリテ乗込
ヲ止メ更ニ他ノ船ニ乗込カ又
ハ同船タリトモ他日航海ノ便
ニ乗込ム片ハ家初受取リタル
證書ハ其出船スル地ノ廳ニ納
メテ更ニ證書ヲ受取ルベシ
第七條) 乗船證書ヲ所持セズ
シテ乗船シタルモノハ上陸ノ
節違式ニ照ラシテ^{トリアツカフ}處分ス
ベシ

第八條) 開港場アル地方廳ニ

於テハ外國船ニ乗込ントスル
ノ届書ヲ差出ス者アル片ハ
第一條第四條ノ手續キニ相
違ナキヤヲ檢閲シ別紙雛形
ノ證書ヲ直ニ本人ニ相渡シ
手数料ヲ領收スヘシ

第九條) 右地方廳ハ兼テ船
場ノ要所ニ於テ警察官吏ノ
出張所ヲ設ケ置キ外國船出
入港毎ニ^{ソクバクミン}若干員ヲ臨檢セシメ
内國人ノ乗船又ハ上陸スル者
ノ證書ヲ一々檢閲シ若シ證各
ヲ所持セサルカ又ハ其証書最
前ノ出船ニ受取リタルヲ其終
再用シタル欵ヲ視認タル片ハ
詳カニ其所由ヲ取糾シ証各所
持セサル者ハ乗船書ヲ受取ル
手續ヲナサシメ或ハ其乗込

ヲ止ム證書ノ再用スル者ハ違式ニ照ラシ處介スベシ

第十條 警察官吏乘船證付ヲ臨檢シ着港上陸ノ者ノ分ハ之ヲ領收シ一時途中上陸ノ者ノ分ハ之ヲ本人ニ還付スベシ

別紙證書雛形

何府縣何大区何小區何町村何番地
 何府縣華士族平民
 姓名
 年 齡
 右何國何号船ニ乘シ何港ニ到ルヲ認メ
 年月日
 廳名 印

裏

一此ノ證書ヲ授與スルカタメ規則ノ通手教料ヲ領收セリ
 一此ノ證書ハ何港到着ノ節其地臨檢警察官吏ニ還付スヘシ

④ 電信貨錢表

東京ヨリ	七錢	廿五錢
東京府内	五錢	十五錢
電信局野徑客和文片仮名二十字ノ定限		横文二十語ノ定限

全以下倣之	小田原迄	九錢	五十錢
沼津迄	九錢	五十錢	
静岡迄	十一錢	五十錢	
濱松迄	十二錢	五十錢	
豊橋迄	十三錢	五十錢	
名古屋迄	十五錢	一円	
岐阜迄	十七錢	一円	
彦根迄	十九錢	一円	
大津迄	廿一錢	一円	
西京迄	廿一錢	一円	
大坂迄	廿三錢	一円五十錢	
堺迄	廿五錢	一円五十錢	
神戸迄	廿五錢	一円五十錢	
姫路迄	廿七錢	二円	
岡山迄	廿九錢	二円	
尾道迄	卅一錢	二円	
廣島迄	卅三錢	二円	
山口迄	卅五錢	二円	

赤馬関迄	廿七銭	二円
小倉迄	廿八銭	二円五十銭
福岡迄	廿九銭	二円五十銭
佐賀迄	四十一銭	二円五十銭
久留米迄	四十三銭	二円五十銭
熊本迄	四十五銭	二円五十銭
佐敷迄	四十七銭	二円五十銭
鹿島迄	四十九銭	二円五十銭
長崎迄	四十三銭	二円五十銭
宇都宮迄	八銭	廿五銭
白川迄	十一銭	五十銭
福島迄	十四銭	五十銭
仙臺迄	十七銭	一円
一ノ関迄	廿銭	一円
盛岡迄	廿三銭	一円
青森迄	廿八銭	一円五十銭
松前迄	卅三銭	二円
箱館迄	卅三銭	二円

森 迄	卅六銭	二円廿五銭
長万里迄	卅九銭	二円廿五銭
室蘭迄	四十二銭	二円廿五銭
札幌迄	四十五銭	二円五十銭
小樽迄	四十八銭	二円五十銭

和文ハ片仮名二十字横文ハ
二十語ヲ以テ一音信ト定メ
二十字二十語以下ト虽凡一
音信ノ料ヲ拂フベシ

東京大坂府下ノ各局ハ和文
一音信五銭其餘ハ十字毎ニ
半價ヲ増シ拂フベシ同横濱
迄モ同シ

横文ハ東京中定限ノ上十字
毎ニ半價ヲ増シ拂フベシ
海外ハ一音信ノ賃銭届賃ト
モ二弗其餘十語毎ニ半價ヲ
増ス

書留音信料ハ通常ノ外ニ半價ヲ増シ拂フベシ
 和文宿所名宛等ハ字数ノ價ナシ横文ハ数ニ應シテ其價ヲ拂フベシ
 届賃ハ二里以内一通一契五厘トス二里以外ハ郵便ニテ届クベシ
 北海道小樽マテ接続電信取扱候ニ付テハ海外音信料ノ義ハ小樽ヨリ東京マテ其中間何レノ局ヨリ發スルトモ一音信ノ料ヲ(三弗)拂ヒ長寄迄通計四弗ト定メ候事

⑤ 通運會社物價送賃錢表

里程	五十日	百日	餘八十日每
二十五里以内	二錢	三錢	三厘
五十里以内	四錢	六錢	六厘
百里以内	六錢	十錢	一錢
百五十里以内	八錢	十五錢	一契五厘
二百里以内	十二錢	二十錢	二錢
三百里以内	二十錢	三十錢	三錢
三百里以外	三十錢	五十錢	五錢

⑥ 天然痘預防規則

第一條 小兒初生七十日ヨリ滿一平迄ノ間ニ必ズ種痘スヘシ
 若シ事故アリテ此期ニ後ル者ハ其次弟ヲ医務取締若クハ區戸長ニ届クベシ

但初種ノ後五年或ハ七年毎ニ再三種ヲ試ムベシ

第二條 種痘シタル者ハ必ズ其種痘医ヨリ種痘済ノ證書

ヲ請取り置クベシ

但天然痘変痘ニ感ジタル者

モ本文ニ準ジテ医師ノ證

書ヲ受取り置クベシ

第三條 醫務取締若クハ区戸

長ハ初種ノ者再三種ノ者及

ビ事故アリテ種痘スルハ能

ハザル者等夫々検査シ地方

廳ニ届ケ出ツベシ

第四條 地方廳ニ於テハ醫務

取締若クハ區戸長ノ届書ヲ

以テ半ケ年分ツ、取纏メ毎

年三月九日内務省へ出スベシ

第五條 送籍ノ片ハ必ず第二

條ニ掲グル医師ノ證唇ヲ所

持スベシ

但滿二十五年以上ノ者并ニ

天然痘済ノ證跡アルモノハ

此限リニアラズ

第六條 管内ニ於テ天然痘流

行スル片ハ管廳ヨリ流行ノ緩

急病症ノ輕重等ヲ接近ノ

府縣ニ報告シ且ツ内務省へ

届出ツベシ

第七條 前條ノ際ニ臨ミテハ未

痘兒ハ勿論種痘済ノモノニ

至ル迄年齢期限ヲ問ハズ普

ク接種スベシ

但未決既監獄繫留ノ囚徒

ハ本條ニ準ジ官ヨリ接種

セシムベシ

第八條 第一條及ヒ第二條ノ

旨ヲ遵守セズ或ハ無誓ノ説

ノ唱へ種痘ヲ拒ミ若クハ他人

ヲ慫慂スル等ノ者ハ違式註

違ヲ以テ論ジ罰金ヲ科スヘシ

⑦ 賣藥規則

(第一條)此規則ニ稱スル処ノ賣藥トハ丸藥膏藥煉藥水藥散藥煎藥等家方ヲ以テ合劑^{ラク}シ販賣スルモノヲ云フ

(第二條)此賣藥營業者^{トセ}ハ藥味分量用法服量功能ヲ詳記シタル書ニ族籍氏名ヲ記シ其管轄廳ヲ經由シテ内務省ニ願出免許鑑札ヲ受クベシ

(第三條)内務省ニ於テハ願書ヲ檢シ其製藥配位^{クハリカタ}ノ藥品^{ハチニキ}刺毒^{ハク}微毒ニ拘ハラズ取扱上失^{アヤ}誤^{アチ}ヲ生ジ易キモノ及ビ毒藥取締ニ關係スルモノハ之ヲ許サバルベシ

(第四條)第八條ニ記シタル期限内中藥味分量用法服量^{ノミカタ}能書ヲ改正セント欲スル者其由ヲ届出舊鑑札ヲ返納シテ更ニ新鑑札ヲ願受クベシ

(第五條)賣藥ヲ受賣セント欲シ其營業者^{トセ}ノ許諾ヲ得タル者ハ族籍氏名ヲ記シタル願書ニ營業者所持スル官許公文ノ寫及ビ營業者ト取結ヒタル約定書トヲ添へ其管轄廳へ願出内務省ノ免許鑑札ヲ受クベシ

(第六條)賣藥營業者及ヒ請賣者トモ必ス免許^{カンバン}ノ者^カ板ヲ掲グベシ

(第七條)賣藥營業者及ヒ受賣者ニ於テ自ラ行商^{デアキナヒ}シ又ハ賣子ヲ派出シテ行商ヲ為サシメント欲スル片ハ其由ヲ管

轉廳へ届出行商鑑札ヲ願受
ケ行商スル片ハコレヲ所持ス
ベシ

第八條 營業鑑札請賣鑑札
行商鑑札ハ其鑑札記載ノ月
ヨリ滿五年ヲ以テ免許ノ期
限トス此ノ期限ヲ過キ尚免
許ヲ得ント欲スルモノハ舊
鑑札ヲ返納シ更ニ新鑑札ヲ願
受クベシ

第九條 第八條ニ記シタル期
限中第四條ノ改正發賣ヲ願
出之ニ免許スル片ハ新鑑札
記号ノ月ヲ以テ一期ノ初月
トナスヘシ

第十條 免許期限内ト雖モ其
製藥第三條ニ掲グル処ノ有
毒品ナルヲ更ニ發見スル片
或ハ營業者製藥ヲ粗惡ニス
ル等ノコトアル片ハ直ニ鑑札ヲ
取上ケ發賣ヲ禁止スルコト
ルベシ

第十一條 營業者廢業スルカ又
ハ禁止セラルトキハ其受賣
者及ビ賣子トモ其販賣ヲ許
サズ

第十二條 諸鑑札ヲ遺失シ又ハ
水火盜難ニ因テ毀失シタルト
キハ其仔細ヲ詳記シテ管轄
廳へ届出再ビコレヲ願受ク
ベシ

第十三條 免許鑑札ヲ他人ニ
讓渡サント欲スル者ハ双方
連印ノ願書ヲ管轄廳ニ差
出シ名前書換ヘテ請フヘシ

第十四條 賣藥營業者及ヒ

受賣者免許期限中其相續人ニ於テ之ヲ相續スルトキハ免許鑑札ヲ改ムルニ及バズトモ其由ヲ届出ベシ

(第十五條) 賣藥營業者廢業シ若クハ禁止セラル、片ハ營業者ハ勿論其受賣者ニ於テモ總テ諸鑑札ヲ返納スベシ

⑧ 出版條例

(第一條) 圖書ヲ著作シ又ハ外國ノ圖書ヲ翻譯^{ホンヤク}シテ出版セントスル者ハ出版ノ前ニ内務省へ届ケ出ツベシ

但シ社則塾則引札ノ類印刷^{イン}シテ發賣セザル者ハ此例ニアラズ

(第二條) 圖書ヲ著作シ又ハ外國

ノ圖書ヲ翻譯シテ出版スルトキハ三十年間專賣ノ權ヲ與フベシ此專賣ノ權ヲ版權トス

但シ版權ハ願フト願ハサルトハ本人ノ隨意トス故ニ版權ヲ願フ者ハ願書ヲ差出シ免許ヲ請フベシ其願ハザル者ハ各人一般ニ出版スルヲ許ス

(第三條) 出版届版權願共草稿ヲ添ユルニ及バズトモ其時トシテハ草稿ヲ徹^{シラベ}シテ檢査スルコトアルベシ

(第四條) 草稿又ハ納本ヲ檢査シテ世治ニ害アル者ト認ルハ其出版又ハ販賣ヲ禁ジ或ハ剽^{コソ}版^{ハン}ヲ毀^クタシムルコトアルベシ

第五條 出版屆版權願共其所
在ノ地方廳（ガカクヤクシヨ）本籍又ハ寄
留ノ地方廳ヲ經由
スベシ

但著譯者出版人其管轄ヲ
異ニスル者ハ出版人所在ノ
地方廳ヲ經由スベシ

第六條 圖書ノ特ニ世ニ鴻益
アル者ハ版權ヲ年限終ルノ
後仍ホ十五年ノ延期ヲ許ス
トアルベシ

第七條 版權免許ノ為ニ其年
限ヲ記セル証書ヲ附與スベシ
年限終ルノ後ハ各人一般ニ出
版スルヲ許ス

第八條 著譯書大部ニシテ卒業
數年ニ涉リ編ヲ逐ヒ漸次出
版スル者ハ每次ニ版權ヲ与ヘ
年限ヲ起算スベシ

第九條 他人ノ著譯書已ニ版權
ヲ有スル者ヲ續成セント欲スル
者ハ原主ニ示談ノ上連印ノ願
書ヲ出スベシ其原主死去セ
ル片ハ相續人ヲ以テ原主ト見
做スベシ

第十條 他人ノ著譯書版權ヲ
有スルモノヲ校訂シ或ハ節畧
シ或ハ註解（チツカイ）附録（フロク）繪圖（エツ）等ヲ加
ヘ出版スル者モ亦原主ノ承
諾ヲ得ザルベカラズ其出願
ノ手續ハ前條ニ依ルベシ

第十一條 既ニ版權ヲ有スル自
己ノ著譯書ヲ校訂シ或ハ節
畧シ或ハ註解附録繪圖等ヲ
加ヘテ出版スル片ハ更ニ願出
ルニ非レハ版權ヲ得ベカラズ
其製本ノ式ヲ改メ若クハ冊數

ヲ分合シテ改版スルニ止リ若クハ舊式ニ依リテ再刻スル者ハ版權ヲ存ス

但シ届書ヲ出シ製本ヲ納ムルハ各本條ニ依ルベシ

(第十二條) 著譯者死後ニ至リ其相續人遺稿ヲ出版スルコトヲ得其版權ヲ願フ片ハコレヲ與フベシ

(第十三條) 版權年限未ダ終ラザルノ間ハ版主ノ相續人ニ傳フベシ

但版權譲受ノ由ヲ相續人ヨリ内務省へ届ケ出ベシ

(第十四條) 他人ノ著譯書ヲ出版スル者ハ必ず著譯者ノ承諾ヲ得ベシ其版權願書若クハ出版届書ニハ必ず著譯者

ト連印スベシ

(第十五條) 版權ヲ得タル者ハ他人其條章ヲ剽竊スルヲ許サズ

但論辨若クハ證明スル爲ニ引用スル者ハ此例ニ非ズ

(第十六條) 同時若クハ前後ニ偶然同様ノ圖書ヲ著譯シ版權ヲ願フ者二人以上アル片ハ共ニ版權ヲ與フベシ其事情明白ナラザル者ハ事由ヲ検査シテ後チ之ヲ許シ或ハ之ヲ許サザルベシ

(第十七條) 外國ノ圖書既ニ甲者ノ成譯アリト虫氏乙者又之ヲ譯シ甲者ノ誤謬ヲ正シ又ハ闕漏ヲ補ヒ及ビ其文意ヲシテ一層明瞭ナラシムル

ノ確證アルモノ版權ヲ願ヒ出
ルルハ検査シテ後予之ヲ許シ
式ハ許サザルベシ

第十八條 著譯ノ圖書同名ノ
者アリト虫氏ワケノチガヒ文理不同ナルニ
於テハ妨ゲナシトス

但シ表題ヲ上ニ著譯ト記載
スベシ

第十九條 出版ノ圖書ハ内務
省ニ於テ目錄ヲ作り時々公
布スベシ

第六條 圖書刻成ノ上ハ製
本三部ヲ内務省ヘ納ムベシ其
版權ヲ得ル者ハ外ニ免許料
トシテ製本六部ノ定價ヲ納ム
ベシ納本セズ及ビ免許料ヲ
出サザル前ハ發賣ヲ許サズ
但シ出版ノ上毎部定價ノ

印ヲ押スベシ

第六條 出版ノ圖書ニハ著譯
者ノ住所氏名ヲ記ス著譯者ノ
主名ヲ知ルベカラザル者ハ其
由ヲ記スベシ而シテ何年月日
出版或ハ何年月日版權免許
ト記シ版主ノ住所氏名ヲ記
スベシ氏名ヲ記セズシテ別號
スル丁ヲ符ズ版權ヲ繼續シ
若クハ賣買シ若クハ分版シテ
ルルハ相續人員主及ビ分版ヲ
受ケタル者ノ住所氏名ニ改ム
ベシ

第六條 版權ノ賣買ハ勝手
タルベシ賣買スルルハ双方連
印シテ其由ヲ内務省ヘ届出
ベシ

第六條 版權ヲ分テ譲リ若

クハ賣リ同一圖書ヲ各自ニ出版スルヲ妨ゲナシ之ヲ分版ト名ヅク

但双方連印シテ届ケ出ル
丁前條ノ如シ

第廿四條)版權ヲ相續シ若クハ分板シ及ビ改版シテ届ケ出ザルモノハ其版權ヲ失フベシ

第廿五條)願済ノ表題ヲ更改シ若クハ納本ノ後ニ新々ニ序跋ヲ加フル者ハ其趣ヲ届ケ出デ更ニ納本スベシ若シ届ケ出デズ又ハ納本セザル者ハ其版權ヲ失フベシ

第廿六條)免許状ヲ失フ者ハ其趣ヲ届ケ出タル上更ニ之ヲ與フベシ

但手数料トシテ製本三部

ノ定價ヲ納ムベシ

第廿七條)小説歌謡ヲ出版スルモノ又此條例ニ從フベシ

第廿八條)彫畫ノ類ハ出版スル毎ニ届ケ出ル丁第一條ニ依ルベシ

但版權ヲ與ヘズ

全罰則

第一條)内務省へ届ケズシテ圖書ヲ出版シ及ビ版權免許ヲ得ズシテ免許ノ名ヲ冒ス者若クハ納本セズ及免許料ヲ出サズシテ發賣スル者ハ其刻版印本及ヒ賣得金ヲ没収ス

第二條)凡ソ偽版ヲ作り或ハ書中ノ字句及ビ繪圖ノ模様

ヲ少^ス変^カシ若クハ少^ス加^スシテ其表
頭ヲ改メ其他總テ他人ノ版
權ヲ侵シテ出版スル者ハ罰
金二十円以上三百円以下ヲ科
シ其刻板印本及賣得金ハ没
收シテ版主ニ給^ル付^スス

第三條 第一條及ビ第二條ヲ
犯スノ圖書タルコトヲ知リテ之
ヲ發賣スル者ハ罰金五十円以上
百円以下ヲ科ス其第二條ヲ
犯スノ圖書タルコトヲ知リテ發
賣スル者ハ現存ノ圖書及ヒ
賣得金ヲ没收シテ版主ニ給
付ス

第四條 無名若クハ版主ノ住
所ヲ記サザルノ圖書ヲ出版
シ若クハ發賣スル者並ニ變
名^イ偽^イ名^イシ若クハ住所ヲ偽^イリ
テ圖書ヲ出版シ若クハ情ヲ知
リテ發賣スル者ハ禁獄十日
以上六月以下ヲ科ス

但シ没收ノ法ハ第一條ニ
依ル
第五條 凡ソ著譯ノ圖書謄
譯律及新聞紙條例第十二條
以下ヲ犯ス者ハ著譯者其罪ニ
坐^スス
但著譯者ハ首ヲ以テ論ジ
出版者ハ從ヲ以テ論ズ

第六條 淫^イ褻^セ俗ヲ乱ルノ圖書
小説歌謠彫書ノ類淫褻ヲ著譯
ニ係ルモノハ皆同ジ
シテ出版スル者ハ禁獄三十日
以上一年以下罰金三十円以上百
円以下ヲ科ス

第七條 法司圖書犯則ノ訟ヲ
受クレバ即時刻板及ビ現存ノ

印本ヲ拘トク収セシメ論決スルニ
至リテ官ニ没ス活版ヲ用フル
者ニシテ出版人自ラ印刷インサツヲ
管スルモノ若クハ付スル所ノ
印刷人犯情ヲ知ル者ハ印刷
ノ器ヲ没収ス

第八條 既ニ版權免許ヲ得ルト
虫氏出版ノ上犯則ニ渉ル者ハ
本條ニ依リ罪ヲ科ス

九 寫真條例

第一條 凡ソ人物山水其他ノ諸
物象ヲ寫シテ專賣ヲ願出ル
者ハ五年間專賣ノ權ヲ與フ
バシ之ヲ寫真版權ト称ス
但之ヲ願ハザル者ハ別段届
出ルニ及バズ

第二條 版權ヲ得タル寫真ニ
ハ必ズ毎葉寫生ノ標号及ヒ
定價並ニ版權免許ノ年月ヲ記
載スベシ

第三條 版權ヲ得タル者ハ寫
真一版ニ付三葉ヲ納メ仍ホ免
許料トシテ一版ニ付十二葉ノ
定價ヲ納ムベシ之ヲ納メザル
前ニ發賣スルヲ許サズ

第四條 出版條例第七條第十
三條第二十一條ノ第三項第二十
二條第二十三條第二十四條及ヒ
第二十六條ハ寫真版權ニ適用
スベシ但シ出版條例第二十六條
但書ノ手数料ハ一版ニ付六葉ノ
定價ヲ納ムベシ凡願届等ノ
手續モ總テ出版條例ニ依ルヘ
シ

第五條 凡ソ圖書ヲ寫真スル
者ハ翻刻出版ノ例ニ倣ヒ總テ

出版條例ニ依ルベシ

第六條) 第三條ヲ犯シ若クハ情ヲ知リテ轉賣スル者ハ其現存ノ寫真ヲ沒收シ一円ヨリ少カラズ十円ヨリ多カラザルノ罰金ヲ科シ仍ホ版權ヲ追奪スベシ

第七條) 他人ノ版權ヲ犯シ寫真ヲ復寫シ又ハ免許ノ名ヲ冒認シ及ヒ之ヲ發賣シ若クハ情ヲ知テ轉賣スル者ハ現存ノ寫真ヲ沒收シ二円ヨリ少カラズ二十円ヨリ多カラザル罰金ヲ科シ仍ホ原主ノ損害ヲ償ハシム但シ原主ヨリ訴出ルニアラザレバ受理セズ

第十條) 金祿公債證書發行條例(第一條) 華士族及ビ平民トモ各

自ノ家祿賞典祿給與ノ制限ヲ改ノ一時ニ之ヲ下渡スト為シ以テ公債証書ヲ附與スベシ
一 永世祿ノ者ヘハ

金祿元高 賞典祿アル者ハ家祿ニ合計シ元高トス

金祿元高	年限
七万円以上	五ヶ年分
七万円未満六万円以上	五ヶ年二分五厘分
六万円未満五万円以上	五ヶ年半分
五万円未満四万円以上	五ヶ年七分五厘分
四万円未満三万円以上	六ヶ年分
三万円未満二万円以上	六ヶ年二分五厘分
二万円未満一万円以上	六ヶ年半分
一万円未満五千五百円以上	六ヶ年七分五厘分
五千五百円未満五千円以上	七ヶ年分
五千円未満二千五百円以上	七ヶ年二分五厘分
二千五百円未満千円以上	七ヶ年半分

右一ヶ年五分ノ利子ヲ給ス	千四未滿九百四以上	七ヶ年七分五厘分
九百四未滿八百四以上	八ヶ年分	
八百四未滿七百四以上	八ヶ年二分五厘分	
七百四未滿六百四以上	八ヶ年半分	
六百四未滿五百四以上	八ヶ年七分五厘分	
五百四未滿四百五以上	九ヶ年分	
四百四未滿三百五以上	九ヶ年半分	
三百五以上未滿三百四以上	九ヶ年七分五厘分	
三百四未滿二百五以上	十ヶ年分	
二百五以上未滿二百四以上	十ヶ年二分五厘分	
二百四未滿百五以上	十ヶ年半分	
百五以上未滿百四以上	十一ヶ年分	
右一ヶ年六分ノ利子ヲ給ス	百四未滿七十五以上	十一ヶ年半分
七十五以上未滿五十四以上	十二ヶ年分	
五十四以上未滿四十四以上	十二ヶ年半分	

四十四未滿三十四以上	十三ヶ年分
三十四未滿二十五以上	十三ヶ年半分
二十五以上未滿以下	十四ヶ年分
右一ヶ年七分ノ利子ヲ給ス	

一終身祿ノ者ハハ

右永世祿年限十分ノ五ヲ給ス

但利子ハ永世祿ノ割合ト

同ジ

一年限祿ノ者ハハ	
十年以上ノ者	永世祿年限十分ノ四ヲ給ス
十年未滿八年以上者	同年限十分ノ三ヲ給ス
八年未滿六年迄者	同年限十分ノ三ヲ給ス
六年未滿四年迄者	同年限十分ノ二ヲ給ス
四年未滿三年迄者	同年限十分ノ二ヲ給ス
二年ノ者	同年限十分ノ一ヲ給ス

但シ利子ハ永世祿ノ割合ト同ジ

第二條 此ノ公債證書ノ利子下
ゲ渡シハ明治十年分ハ十一月
翌年五月ニ相渡シ以後之ニ準
シ年々兩度ニ下渡ストス

第三條 家祿賞典祿元高ヲ付
與スル年限ニヨリテ利子ノ差
異ヲ生ズルトキ元高ニ向テ公
債證書ヲ附與スル年限左ノ
如シ

譬ヘハ

一金壹万圓 家祿賞典祿元高
此六ヶ年半分金六万五千
円 此ノ公債證書ノ利子一ヶ
年五歩金三千二百五十円
トナル

一金九千九百円 同上

此六ヶ年七分五厘分金六
万六千八百二十五円 此公債

證書ノ利子一ヶ年五歩金
三千三百四十一円二十五割ト
ナル

右比較九千九百円ノ方利子九
十一円二十五割ノ過トナル然
ルトキハ一万円ノ利子金額ニ
起過セザルヲ以テ制限トナス
故ニ九十一円二十五割ヲ引去
リ利子三千二百五十円ニ過
當スル公債證書ヲ下渡ヲ
以テ規則トス其他右ニ類似
ノ件ハ之レニ準ス

第四條 此ノ公債證書ハ利子
ノ差ニヨリ區別アリト云モ其
發行スル種類ハ左ノ如シ

(五円) (十円) (廿五円)
(五十円) (百円) (三百円)
(五百円) (千円) (五千円)

第五條 前條公債證書ヲ附與スルハニ當リテ公債證書ニ未滿ノ端金ハ都テ通貨ニテ相渡スベシ

第六條 此公債證書ノ元金ハ五ヶ年間之レヲ据置キ六ヶ年目ヨリ大藏省ノ都合ニヨリ毎年抽籤ノ方法ヲ以テ之レヲ消却シ都合三十ヶ年間ニ悉皆之ヲ消却スヘシ

第七條 此公債證書發行ニ付テノ順序其外トモ此條件外ノ事件ハ總テ新旧公債証書發行條例ノ通りタルト心得ベシ

（七）東京ヨリ各府縣へ里程表

府縣名	元標地名	里	程
東京	日本橋		

京都	三條大橋	百三十一里十九間三尺
大坂	高麗橋	百四十四里一町五十一間
神名川	横濱本町	八里十八町三間五尺
兵庫	神市場町	百五十四里七町二間四尺
長崎	外浦町	三百十四里二町五寸間三尺
新潟	本町	三百八十九里九町七間四尺
埼玉	浦和中町	六里四町二間
群馬	前橋	未詳
千葉	本町	十里十一町四十八間五尺
茨城	水戸下市七軒町	廿九里廿九町三寸間三尺
栃木	倭町	廿三里十八町二十八間四尺
堺	大小路大道ノ辻	百十七里六町十六間三尺
三重	津ノ掲示場	百三十三里十五町二十三間
愛智	名古屋鉄砲町	九十四里九町四十一間
静岡	呉服町	四十六里十三町五十九間三尺
山梨	甲府錦町	三十五里十七町四十間五尺

滋賀	大津上高町	百廿八里十町三十四間一尺
岐阜	白木町	百三里三十町五間五尺
長野	大門町	五十八里三十三町二間一尺
宮城	仙臺大町	九十二里八町五十六間一尺
福島	上町	七十里九町二十三間一尺
岩手	齋藤臺町	百四十里十六町三十四間
青森	大町	百九十一里三十四間 通炭二百二里九町三尺
山形	七日町	九十五里三町十九間四尺
秋田	各孫田大町	百零九里三十三町二間
石川	尾張町	道中山百七十七里七町七間一尺 道兼海百六十四里三十四間一尺
島根	松江堅町	二百零九里九町三十四間五尺
岡山	橋本町	百九十里六町三十一間一尺
廣島	細工町	二百三十三里三町三十四間一尺
山口	大市町	二百六十八里七町四間一尺
和歌山	本町	百六十二里九町九間三尺
愛媛	松山礼辻	二百四十九里八町五十七間

高知	帶屋町	二百零九里四町七間一尺
福岡	橋口町	三百十里十六町四十八間
大分	碩田橋	三百二十里二町三十四間一尺
熊本	新町	三百零五里三町七間五尺
鹿島	下町	三百零九里四町三十四間一尺
開拓使	札幌	百二十六里四町四十八間
琉球藩	中山府首里	六百七十八里三十四間

⑬ 新橋品川間汽車出着
共賃錢表

時刻	午後		午前	
	出	着	出	着
賃錢表	新橋ヨリ大	品川ヨリ大	品川ヨリ大	新橋ヨリ大
	田町ヨリ大	品川ヨリ大	品川ヨリ大	田町ヨリ大
午後	分十三時一 分五十四時二 時 四	分五十四時九 時 一十 分十四時六 分五十二時七 分十四時八 分五十五時九 分十時一十	分五十四時九 時 一十 分十四時六 分五十二時七 分十四時八 分五十五時九 分十時一十	分十三時一 分五十四時二 時 四
新橋中	六錢	十錢	十錢	六錢
迄橋下	三錢	五錢	五錢	三錢

心得規則

(第一條) 各府縣ヨリ材木類直請營業ノ者ハ問屋ト可相唱問屋ヨリ買受賣捌ク者ハ普通材木渡世ト可相心得事

(第二條) 問屋ト材木渡世ト分ケ組合ヲ設ケ人負ニ應ジ頭取ヲ置キ組合締方可取扱事

但材木問屋及ビ材木渡世トフタハニ記載シタル番板可相扱事

(第三條) 營業ノモノハハ總テ鑑札可相渡尤モ鑑札免許料トシテ年々一円五十銭ツ可相納且ツ本年ノ儀ハ即納イタシ次年ヨリ一月三十日限リ頭取ニ於テ取纏ノ上納可致事

(第四條) 新規開業ノ者ハ組合頭取加印ヲ以テ鑑札受取方可申立事
但シ鑑札免許料即日
上納可致事

(第五條) 頭取ハ組合名簿ヲ製シ年々一月二十日限り可差出事
但シ休業ノモノハ其時々頭取加印ヲ以テ鑑札返納方可届出事

(第六條) 開業ノ者之レアル節ハ組合ニ於テ故障ヲ唱ヘ或ハ無謂出金致サセ候義ハ不相成事

(五) 八品商取締規則

(第一條) 左ノ商業ヲ営ム者ヲ八品商ト総稱シ以下各條ノ

規則遵守セシムル事

(質屋)(漆物屋)(古着賣買)(西洋古服靴傘賣買)(古銅鉄賣買)(漬シ金銀賣買)(古道具屋)(大道具屋)(雜道具屋)(時計屋)(袋物屋)(小間物屋)(紙屑賣買)(古本商賣)(黽甲屋)(黽甲職)(飾屋)(飾職)(落打職)

第二條(右商業ハ一小区限リ)

組合ヲ立テ正副頭取ヲ置キ

組合中諸事取締可致事

但シ正副頭取ハ同業中人数

ノ多寡ニヨリ適宜ニ之ヲ増

減スルヲ以テ預メ其員ヲ

定メズ

第三條(頭取ハ品觸其他當廳

達シ(警視廳)アラバ速カニ

組合ニ廻達可致事

第四條(頭取ハ組合名前帳ヲ

製シ商業並ビニ住居本籍寄

留姓名年齢等ヲ記載シ銘々

實印ヲ取リ置クベキ事

第五條(此商業ヲ為サント欲ス

ルモノハ戸長並ビニ組合頭取奥

印ヲ以テ當廳へ願出デ鑑札ヲ可

受事

但シ質屋ハ東京府ヨリ營業

鑑札ヲ受ケ候上本文ノ如ク

願出スベシ

第六條(轉業及ビ廢業者ハ第

五條ノ手續ヲ以テ鑑札返納可

致事

第七條(居商ハ店先ニ看板ヲ

掲ゲ行商ハ鑑札ヲ携帶スベ

キ事

第八條 開業廢業並ビニ移轉死亡等ノモノハ頭取ノ手ヲ經テ警視署及ビ區務所ヘ可届出事

第九條 無鑑札並ビニ組合ニ入ラス商業決シテ不相成事

第十條 鑑札ヲ他人ニ貸シ典ヘ或ハ借受ケ商業不相成事

第十一條 各商トモ左ノ二種ノ帳簿ヲ製シ置キ無遺漏記載シ當廳取調ノ用ニ供スベキ事

第一(賣買明細帳)此帳簿ニハ商業上取引人ノ住所姓名品柄等ヲ詳記シ質入レ主賣主及ビ證人ノ実印ヲ必ズ取り置クベシ

第二(品觸綴帳)此帳簿ニハ

紛失品觸ヲ綴リ置ベシ

第十二條 前條ニ記ス第一ノ帳簿ニハ頭取ノ認印ヲ受ケ紙數ヲ記載シ置ヘキ事

第十三條 質入レ主賣主住所姓名等熟知セザル者ハ證人一名相立サセ必ズ其兩判ヲ取り置クベシ尤モ證人ハ男女ヲ論ゼズ其住所姓名ヲ知ルモノニ限ルベシ

第十四條 官廳ノ印アル品或ハ官品ト見定メタルモノヲ質入レシ又ハ賣却シ或ハ漆色模様等ヲ变换スル者アラバ手段ヲ以テ之ヲ留メ置キ巡行ノ巡查又ハ取寄ノ警視署ヘ密告スベキ事

第十五條 質入レ主賣主又ハ漆

物等ヲ頼ム者ヲ怪シク見受ケ
タルトキハ速カニ前同様訴出
ツベキ事

第十六條) 品觸ニ類似ノ物品ア
レバ速カニ其所轄ノ警察廳
へ訴出ツベキ事

第十七條) 途中往来ニ於テ物
品買取ルベカラザル事

第十八條) 古着買古銅鉄紙屑
買等一家ヲナサザル片買廻ルモ
ノハ各同商内一家ヲ成ス者ノ
買子或ハ備丁トシテ其備主
ヨリ鑑札ヲ願下ケベキ事

但シ紙屑買回ル者ハ必ず目
籠ヲ携ヘ目籠ニ住所姓名ヲ
記シタル木札掲クベキ事

第十九條) 行商ハ決シテ商業
外物品ヲ買取ルベカラズ且ツ

必ず秤ヲ携フベキ事

第二十條) 新タニ組合ニ加入スルモ
ノヨリ種々ノ名目ヲ以テ金錢等
取集ムル義決シテ不相成事

第廿一條) 正副頭取ハ勿論各商
トモ此規則ニ違反シ其他不正
ノ所業有之ヲ見聞候ハハ速
カニ所轄ノ警視廳へ密告スベ
キ事

第廿二條) 不正品ト心附キ品觸
ヲ待タズ速ニ訴出ル者ハ他日
不正タル丁頭然タル節ハ其
賞トシテ金五円以下ヲ給ス
品觸アリテ速カニ訴出デ右
同断ノ者ハ金三円以下ヲ給與
スベキ事

①六 東京府戸籍上諸願伺届
書正副負数一覽表

願屆數表	願屆書明細簿	戶籍簿	印鑑
士族隱居	一通	一通	
及家督死	一通	一通	
跡相續歿	一通		
寄留者	一通		
士族生家	一通	一通	
後籍跡相	一通		
續願	一通		
寄留者	一通		
士族後見	一通		
拜任免職	一通		
留守心得	一通		
轉居届改	一通		
姓名願	一通		
寄留者	一通		
士族入夫	一通		
養子離縁	一通		
願	一通		
寄留者	一通		
士族貫属	一通		
昏願	一通		
寄留者	一通		
士族病死	一通		
及忌服届	一通		
寄留者	一通		
士族家督	一通		
海明細短	一通		
冊	一通		
寄留者	一通		
改内改印	一通		
届	一通		
寄留者	一通		

戸籍面錯	二通								
誤改正願	二通								
漏籍ノ者	二通								
入籍願	二通								
他管民ヲ	三通								
本籍へ送	三通								
送願	三通								
使府縣リ	三通								
問合ニキ	三通								
原籍調合	三通								
棄兒捨揚	一通								
届	一通								
棄兒貫受	二通								
願	二通								
他管ニ涉	三通								

東京府達諾車稅表

諸車稅則一覽表										
車名	馬車三匹立	馬車一匹立	荷積馬車	人力車三人	人力車一人	牛車	荷積車大七	荷積車中六	自轉車	西洋形小車
稅金額	三円	二円	一円	二円	一円	一円	一円	一円	一円	十三銭
年數	一年	一年	一年	一年	一年	一年	一年	一年	一年	一年

諸書式類

① 訴訟状書式

住所
原告人 族籍 姓名

住所
何々ノ訴 族籍

住所
被告人 族籍 姓名

米金等云々

右原告人姓名申上候私儀云々

年月日 姓名印

住所

族籍

姓名印

某裁判所長

何等判事姓名殿

凡ソ訴状ハ此ノ書式ニ做フベシ
シ縦令ハ貸米金地所家作等
ノ貸附ヲ受戻サントスル等
物品ノ差異アリト云々式ハ

此ノ如クナルベシ

② 訴状表紙ノ式

年月日

何訴状

住所
族籍 姓名

凡ソ訴状ニ用フル罫紙ト同
シ寸尺ノ白紙ヲ用ユ

③ 答書々式

住所
某ノ答 被告人 族籍 姓名

右住所族籍何ノ誰儀何々之儀
訴出候ニ付今何日御呼出御状
并見仕御答申上候

私儀云々

右之通御座候也

年月日 姓名印

某裁判所長
何等判事姓名殿

凡ソ答書ハ此ノ書式ニ倣フ
ベシ若シ其件ニヨリ證據ト
スベキ各類アレバ其全文ヲ
私儀云々ノ文中ニ記載スヘ
キ

④ 答書表紙ノ式

答書表紙ノ式ハ前ノ訴狀
表紙書式ト変ル丁ナシ但
何訴狀ノ三字ヲ何答書ノ
三字ニ改ムルノミナリ

⑤ 金子借用證書式

金子借用之證

一金何円也

右者無據入用ニ付借用申
處実正也利足之儀ハ元金何
円ニ付一ヶ月金何程ニ相定ル
ル何年何月何日限元利共返

済可致候若シ相滞候節ハ証人
引受弁償可致候為後證仍而
如件

住呀 族籍 借主 姓名印
明治何年何月日

住呀 族籍 証人 姓名印

住呀 姓名殿

⑥ 地券預リ之證

住呀 族籍 借主 姓名印

何國何郡何大区何小区何番地

間口何間
奥行何間

此坪數何坪
券金何百圓

住呀 族籍 貸主 姓名印

右誰所有ノ地所質金受取金何
百円用達候ニ付前書券狀一通年

本中借主誰方ヨリ預リ申候返金之節無相違相戻可申候爲後日仍如件
年月日

⑦ 預リ金之證

預リ金證

一 金何円也

右之金子(立會相改封印ノ上)預リ置候処実正也(然ル上ハ)

金何~~元~~割~~リ~~以テ何時ニテモ御入用之節無差支相戻可申候爲後証仍如件

住呀 族藉 姓名印

年月日

住呀 姓名印

⑧ 借家之證

借家之證

貴殿差配被成候建家間荷間奥行何間地坪何坪有之(權作我等借受難踞)可致候処実正也爲敷金

只今金何円入置店賃ノ儀八月々金何円ノ毎月幾日限り無滞可相納若一ヶ月ニテモ滞候ハ、此敷金ノ内ヲ以テ御引去リ不足相立候ハ、請人何ノ誰ヨリ年納及ブバク右廉ヲ以テ店引拂可申候御布告向ハ不及申町規ノ廉々此度相守可申候若店御入用ノ節ハ三ヶ月ノ内無異儀立退可申其砌一言之儀申入間敷候爲後証仍如件

年月日

借主 姓名印

住呀 族藉

請人 姓名印

差配人 姓名殿

⑨ 地所書入ノ證

地所書入之證

一 金何円 但元金何円ニ付一ヶ月利息何程

此書入 第何号地券ノ証何国何郡何村字何々何番地

一 何地何反何畝歩 此地價金何百円

右之地所書入書面ノ金額借用申
 處實正也期月之儀ハ來ル明治何年
 何月何日限前書ノ利金差加入元利共
 返済可致候若シ其節本人差支候
 公書入之地所愛人方引請速言無償申
 致候為後證仍如件

年月日 借主 姓名印

住所 住所 姓名印

住所 姓名殿

第何号 (續)
 前書之通相違無之ニ付致與各
 割印候也

右所 戶長 姓名印

⑩ 建家書入質ノ證

建家書入質之證

一金何円

此書入質但坪數其外別紙
 繪圖面ノ通

右之建家書入吞面ノ金額借用申處

実正也利足ノ儀ハ元金何円存百
 金何程ニ相定ノ來ル明治何年何月
 何日限元利共返済可致候尤敷地
 ノ儀ハ批者所有地或ハ姓名ヨリ借地
 ニテ書入質ニ相籠リ不申候若シ期月
 ニ至リ返金差支候ハ右建家速引
 渡可申候為後日證仍如件

年月日 書入質主 姓名印

住所 住所 姓名印

住所 姓名殿

第何号
 前書之通相違無之ニ付致與書割印
 候也

右所戶長 姓名印

借地 住所持主 姓名印

⑪ 同繪圖面

明治何年何月何日書入質
 何大区何小区何番地建物

② 第一番 平家造 何坪	③ 第三番 平長屋	④ 第四番 平長屋
--------------------	--------------	--------------

第一番
二階造
本家
何坪

何府
何縣第何大區何小區何番地
建物持主 姓名印
姓名殿

凡テ若シ他ノ建物アルハ
圖面ニ墨ニテ引キ書入質ノ
外也ト記載スベシ

⑤ 建家賣渡ノ證

建家賣渡之證

一建家幾棟 但坪數間數等ハ
繪圖面ノ通リ

此代
金何円

右者此度所持ノ建家賣渡代金
受取申出実正也。此建家ニ付万一故
障出來候共受人ニテ引受ケ決シテ
御迷惑相掛ケ申間敷候為後證仍
如件

年月日 住所 賣主 姓名印

住所 受人 姓名印

前書之通相違無之ニ付致奥書
割印候也

右所 戶長 姓名印

凡ソ此ノ證書ニテ地面ハ別ニ
持主アル片前文(実正也)ノ下ハ
地面ノ義ハ持主姓名ヨリ何年
何月迄貸渡可申ノ文ヲ加ヘ戸
長奥書ノ末へ(地所持主ノ連
署ヲ加フ)ベシ

⑬ 公債證書賣渡シノ証

公債證書賣渡之證

一新公債證書

一 金何円

何円 何印 何通
何円 何印 同
此賣渡代金何円

右者所持ノ公債證書ニ有之候是公債
賣渡ノ上代金正ニ受取候也然ル上ハ
證書御書換可被成候尤マ書換願
中ハ委任状ヲ差出置書換相濟候
上委任状ト引換證書相渡可申候也

年月日 住所
賣主 姓名印
住所
受人 姓名印

⑤ 諸品質入ノ證

諸品質入之證

金何円 但元金何円ニ付
下月利子何程

此質入

何品 何程

右之品質入書面ノ金額借用申出
実正也期限ノ儀ハ本日ヨリ來ル
何年何月迄前書ノ利子差加ハ
物品引換ニ返金可致候若シ其
節相滞候ハ右質入品賣拂代金
ヲ以テ償却可致候若シ元利ニ不
足致シ候共聊カ御損毛相掛申間

敷候為後證仍如件

年月日 住所
質主 姓名印
住所
受人 姓名印
住所
姓名殿

⑥ 出版并版權等願届式

出版御届 (版權ヲ願再ハ出版
版權御届ト記ス)

一書名 何冊大(繪圖ト共)
小(大小法)

何年何月出版 三冊以上各二之ハ
或ハ七卷何月出版各卷
何月出版ト各ク

右者(私) 著何々之事ヲ(記載) (翻載)
(先人) 著何々之事ヲ(記載) (論述)

何々之事ヲ(記載) セル原書ヲ(私)
(先人) 著何々之事ヲ(記載) (論述)

翻譯致シ一切條例ニ背キ候儀無之

告 候間令度(他人ノ著述トハ此間ニ) 出版致
シ度此段御届申上候也(版權ヲ先願フ
片ハ此段以下ニ

先願フ) 猶更難免許奉願候也
御届

年月日 著者 何族籍 姓名印
 他人ノ著 同上 姓名印
 訳者ヲ出 同上 姓名印
 版スル於 同上 姓名印
 出版人 姓名印
 内務卿姓名殿
 前書之通届出候ニ付進達候也
 年月日 何府知事 姓名印
 何縣令 姓名印

既刻圖書版權願書

版權御願

一書名 何冊大(同上)

第 右者私(何人誰) 著何々之事ヲ(記載) 訳

代ハ私以下ニ (何年何氏著何ト題何々)

ノ事ヲ(記載)セル原書ヲ(私(何人誰) 訳

致シ去ル何年何月出版致シ候者

ニテ一切條例ニ背キ候儀無之候間此
 度版權免許奉願候也

何府 何縣 何族籍

年月日 姓名印 住所
 著者 同上 姓名印
 他人ノ著 同上 姓名印
 出版人 姓名印

内務卿姓名殿

前書之通願出候ニ付進達候也

年月日 何府知事 姓名印
 何縣令 姓名印

他人ノ著譯ヲ續成シタル

出版届書若クハ出版版權

願書

出版御届(第一号ニ同シ)

一書名 何冊大(同上)

右者前(何冊)ハ何ノ誰著何々事ヲ(記載)

論(訳ナレバ何誰以下(何年何國何氏

著何ト題シ何々事ヲ(記載)セル原

書ヲ何誰翻譯(致シ何年月出版)

得シ者ハ此間ニ 免許ヲ受候處右

何誰故障アリテ(後篇) 成功ノ自途

ナキニヨリ(私)何誰(後篇)ヲ續(著)
致シ一切條例ニ背キ候儀無之候
間今度示談ノ上出版致度此段
御届申上候也(版権ヲ願フ片)
ハ第一号ノ下文ヲ用ニ

年月日 何縣
前編 何族籍
前編 板主(死後) 姓名印
前編 板主(相續人) 住所

後編 著者 同上 姓名印
後何冊 著者 同 姓名印

出版人 同上 姓名印
同 姓名印

内務卿姓名殿
前書之通編出候ニ付進達候也

年月日 何府知事 姓名印
何縣令 姓名印

① 他人ノ著譯書ヲ校訂シ
或ハ節畧シ或ハ注解附
録繪圖等ヲ加ヘタル出
版届書若クハ出版板権
願書

出版御届(第一号ニ同シ)
一書名 何冊(本)同上

何年何月出版(第一号ニ同シ)
右原書何誰著何々事(記載)ヲ
代ル(以下ニ)何年何國何氏著何々ト
題シ何々事(記載)セル原書ヲ

何誰翻譯致シ何年月出版(第三号ニ同シ)免許ヲ受ケ何誰所持候處
今般(私)何誰ノ校訂(附録)繪圖(注)ヲ加ヘ
一切條例ニ背キ候儀無之候間今
度示談之上出版致度此段御届
申上候也(第一号ニ同シ)

年月日 何縣
原書板主(死後) 何族籍
原書板主(相續人) 姓名印
住所

校訂注解者 同上 姓名印
繪圖附録者 同 姓名印

他人ノ校訂注解等ニ係ル各ヲ出
版スルニ於テハ同上原各版主校訂
注解者ノ名ヲ記シ加フルニ出版人
ノ名ヲ以テス 同上

出版人 姓名印
内務卿姓名殿 同

前書之通届出候付進達候也

年月日 何府知事 姓名印

①九 版權(買受)(譲受)(分版)層

版權(買受)御届

一書名 何誰(著)款 何冊(大)第(号)

第

右者何年何月版權免許ヲ得テ

何誰所持候処今度示談之上何誰

(買受)候ニ付(版主死去相続人受継シ)
(譲受)候ニ付(トキハ今度以下三代以下)
何年何月日死去私版權相続致シ

何府

年月日 何族籍

賣主(譲主) 姓名印

同上

買主(受主) 姓名印

(版主死去相続人受継シ)
者ハ得リ其者ノ名ヲ以テス

五

版權相続人 同上 姓名印

号

内務卿姓名殿

前書之通届出候付進達候也

年月日 何府知事 姓名印

①十 甲既ニ成譯シテ出版セル

圖書ヲ又譯シテ出版ス

ル届書若クハ出版版權

願書

出版御届(第一号ニ同シ)

一書名 何冊(大)第(号)

第

何年何月出版(第一号ニ同)

右者既ニ何誰成訳出版版權免

許有之候得共何誰今度新正

シ前訳誤謬ヲ訂正シ(或ハ欠漏ヲ補)

瞭ニシ(一切條例ニ背候儀無之候)

六

間御検査ノ上出版致度此段御届

申候也(第一号ニ同シ)

何府 何族籍

号

年月日 姓名印
 同上 住所
 姓名印
 他人ノ訳者
 ヲ出版スル
 ニ於テハ 同上 姓名印
 内務卿姓名殿
 前書之通編出候三付進達候也
 年月日 何府知事
 何縣知事 姓名印

⑤ 版權免許證書式

第何號

因各局ノ割印 版權免許之證 ○檢査印
 何誰著

書名 何冊

版權免許之證 何府何族籍 姓名藏版

右者明治何年何月日ヨリ向三十
 年間版權免許候也

年月日 内務卿姓名

⑥ 版權免許料上納書面

記

第何号 何府何族籍

一金何円 藏版人 姓名

何年月日免許 六部代

一書名 何冊

但一部 何程

右版權免許料上納仕候也

年月日 住所 姓名印

何府知事 姓名殿

⑦ 納本添書式

一書名 何誰著 全部何冊 (全部何冊)

全部定價何円 (何冊何円)

右者何年何月日出版御届仕(何年

何月日版權免許相成)候外一般刺

成三付三部納本仕候也

何府

何族籍

年月日 姓名印

内務卿姓名殿

前各冊別ニ送付スル者ハ
 追テ通運會社郵便ニ差出候也

⑤ 酒類醸造出皆済届書式

何酒醸造石高自何年十月至何年九月 期検査済海番

住所 姓名

凡積石高 一何百何拾何石

内 何石何斗何升 何月日検査

何石何斗 同

合何石何斗何升

差引 何石何斗何升増造

前書之通検査候処相違無之仍 皆済御届申上候也

右区戸長 姓名印 何年九月

⑥ 藝妓稼御鑑札願書式

藝妓稼御鑑札願

住所

夕レ 何年何月

私儀藝妓稼仕度諸事御規則ハ 勿論無滞税納仕根ケ間敷儀不仕 候間御鑑札御下ケ渡被下度奉願 上候也

右當人 年月日 夕レ

父 姓名印

右取組候処タレ真意ヨリ出願候 儀ニ付奥印仕候也

戸長

姓名印

何府知事 令姓名殿

娼妓レバ住所名之上三何

大區区町名番地又出ノ文ヲ加私

儀ノ下ラ娼妓ノ二字ニ代ニ

⑦ 雇人請狀

雇人受狀

住所

某男弟女妹

姓名

何年何月

右之者本日ヨリ來ル何月何日迄

満一ヶ年雇ニ差遣シ給金何円ニ

取極候処実正也然ル上ハ本人病氣

又ハ不都合之事有之候共聊カ御

迷惑相抵申間敷且以給金前借
致之本人償還差支候節ハ受人リ
弁償可致候仍受狀如件

年月日

住所

受人

姓名印

人主

姓名印

姓名殿

三 養子貰受約定一札

約定一札

一拙者今般媒人立會ノ上ニ貴殿
子息^{三男}何誰養子ニ貰受候処
実正也然ル上ハ縱令將來ニ於テ
実子出生候共跡式ノ儀無相違
右誰ハ相護可申候万一不為致
違約媒人違印証各差入候也

住所

養父

年月日

姓名印

媒人

姓名印

姓名殿

三 養女貰受約定一札

約定一札

一拙者今般貴君之実女誰レ儀養女
ニ貰受約定済本日引取候処実正也
然ル上ハ成長ノ後相應ノ聲ヲ迎ヘ
跡式不殘相護可申候万一無其事
故出來他家ハ縁付候共決シテ見
苦敷体載為致間敷候若醜体
之所行等有之即ハ何時ナリモ引
取可被成其節養育料杯彼
是請求等申入間敷候也

住所

養父

年月日

親類

姓名印

姓名殿

三九 盜難届書式

盜難御届

何年何月数日表裏ノ戸口等夫々
締リ相附ケ家族一同打卧シ(他出
致之策何時頃目覚シ(帰宅シ)
家内ヲ見廻シ候処何處ヲ打破リ

(押放)盜賊悉入(抜カ)以テ金銀差
出スベキ旨申威シ(算旬或ハ何々之
錠前ヲ破リ金銀衣類左ノ目錄ノ
通り盜取立(奪取リ)候仍此段御訴
申上候也

年月日

住所

族籍

姓名印

被盜品目錄

一金何円也

内何円

紙幣

一銀時計

洋字何十何番
大小寸法

一個

一單物

何枚

若シ盜賊遺留ノ物有ラバ下ニ記載ス

三十拾七物届書式

拾七品御届

住所

族籍

姓名

右奉申上候私我去レ何日(本日)何時迄
用向有之罷越候処途中何時頃於何
处在ノ品拾七取申候依之此段御届申候也

年月日

右

姓名印

一何品

幾何

一何々

同

掌
公布諸規則便覽終

明治十年六月十四日 版權免許 廿貳號
同年同月廿五日出版

編輯人

東京府下族

高木正謙

東京淺草三筋町住

下野國都賀郡高野寺田

朽木原半民

菅谷甚平

下野國都賀郡高野寺田

出版人

諸國賣捌書林

東京

山城屋佐兵衛

野朽木 山中八郎

同

小林新兵衛

同 叶屋儀右衛門

同

山中市兵衛

同 萬魁堂

同

藤岡屋慶治郎

同 谷屋喜平

同

高橋松次郎

同 和洋舎

同

岩本屋弥兵衛

同 相場廣四郎

同

森屋治兵衛

同 宇都宮 萬年屋忠平

同

梳屋喜兵衛

同 佐野 堀越常三郎

同

小林喜右衛門

同 鹿沼 北村平兵衛

同

東生龜次郎

同 東原惣平

同

宇佐義米太郎

同上 三川 萩原藤作

同

丸屋善七

同 真岡 塚田貞蔵

大坂

河内屋善兵衛

同 壬生 鈴木屋善平

同

河内屋茂兵衛

同 榑木 佐原屋源吉

同

河内屋真七

同 烏山 村野卓爾

信州

小林屋善太郎

同 藤屋真七

武州

長島爲一郎

同 安澤 萬屋利平

甲府

内藤傳善衛門

同 太原 田代太郎三郎

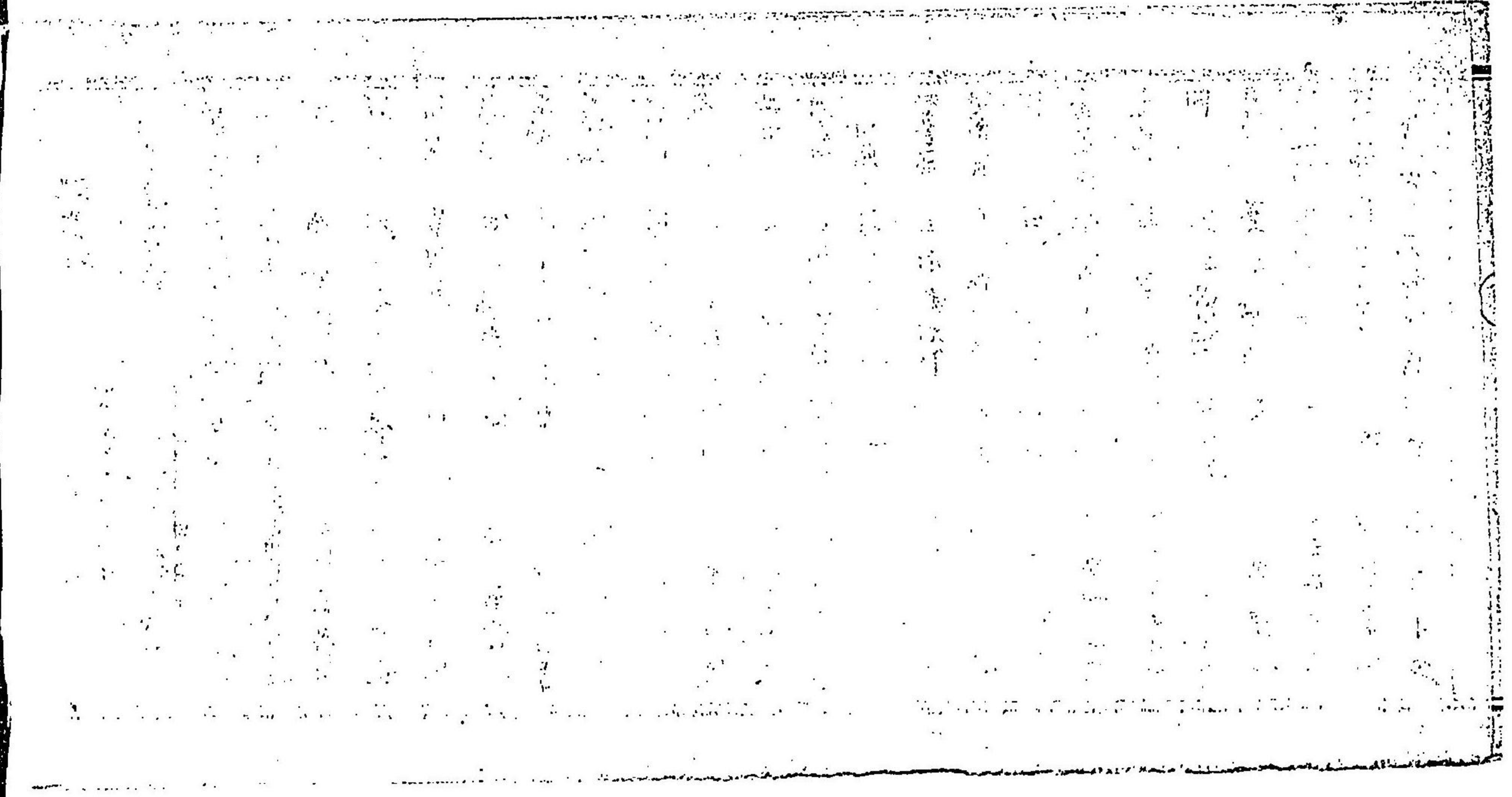
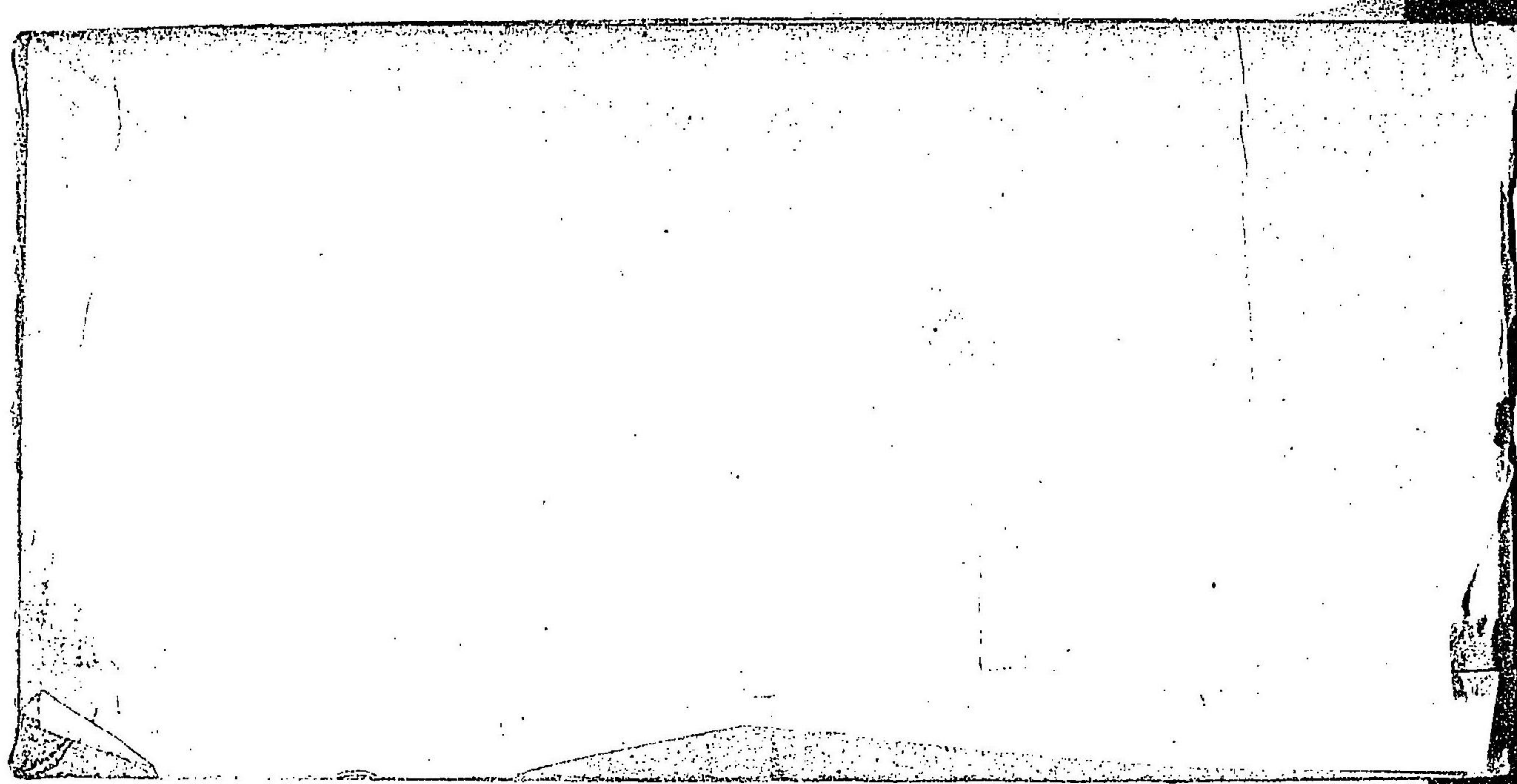
在尾野町吉田源太郎	靜岡	本屋市藏
松江本町 園山喜左衛門	沼津	本屋浦吉
金沢女崎 近岡屋太平	高山	阪田長五郎
西京 菱屋孫平	多古	土屋勘平
同 錢屋惣四郎	合市場	江戸屋小吉
神戶町 池居 堂	濱松	伊勢屋清七
名栗町 永樂屋重四郎	同崎	松原惣太郎
同 萬屋東平	榎前	加藤利平
横須賀 竹川新四郎	西尾	鹿島十平
伊勢原 山田淺次郎	四日市	吉田重善十郎
小田原 米屋忠平	岐阜	稻屋善七
舟橋 呂川屋金十郎	信州上白	嵐屋甲造
土浦 寺田新助	飯田	土屋半四郎
同 大國屋弥助	野田	梅屋林藏
高崎 菊屋源作	佐原	正文堂利平
伊勢崎 川木屋平吉	水戸	須原屋安平
北條 山中安民	碓	中村屋甚吾
茂原 松田屋清平	同	古川屋吉平
川越 岸田屋文吉	同	上市屋治平
熊谷 近江屋平吉	越後長岡	鳥屋十郎
本庄 藤屋安平	同	中村屋作平
山形 流井大四郎	同	柏崎高桑屋小平
盤城平 清水甚太郎	岡山	中島屋益太郎

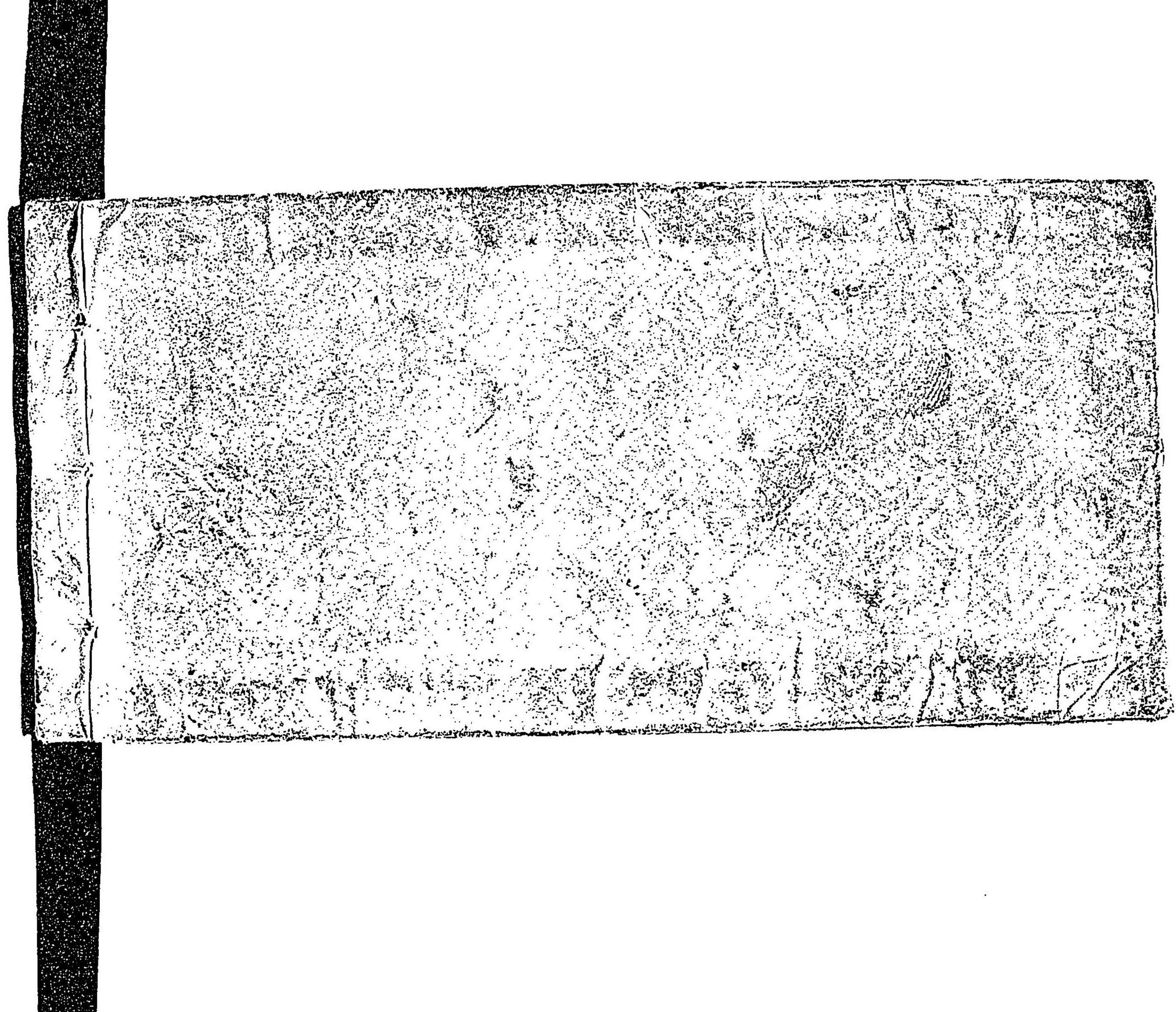
發兌書林

東京本單三丁目拾七番地
金港堂原亮三

出版書林

柄本萬里子目拾七番地
菅谷甚平





301013-000-7

特71-495

公布諸規則便覽(掌中)

高木正謙/編

M10.6

BBA-0002



特71

495

東 京 圖 書 館

新 門 一 一 函

一 部 三 架

二 類 一 四 號



掌中諸規則便覽